

# DVD レコーダー

---

## 取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



**警告**

電気製品は安全のための注意事項を守らないと、  
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。



DVD+ReWritable

## DVO-1000MD

# 安全のために

本機は正しく使用すれば事故が起きないように、安全には充分配慮して設計されています。しかし、間違った使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

## 安全のための注意事項を守る

5～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記されています。

## 定期点検を実施する

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします。点検の内容や費用については、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

## 故障したら使わない

ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。

## 万一、異常が起きたら

- ・煙が出たら
- ・異常な音、においがしたら
- ・内部に水、異物が入ったら
- ・製品を落としたり、キャビネットを破損したときは

- ① 電源を切る。
- ② 電源コードや接続ケーブルを抜く。
- ③ ソニーのサービス担当者または営業担当者に修理を依頼する。

## 警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながる可能性があります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

### 注意を促す記号



火災



感電

### 行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止

### 行為を指示する記号



指示



アース線を  
接続せよ

# 目次

安全のために .....	2
必ずお読みください .....	4
警告 .....	5
注意 .....	5
その他の安全上のご注意 .....	6
使用上のご注意 .....	7
取り扱い・保管上のご注意 .....	7
HDD 搭載機器に対する注意事項 .....	8
お手入れ .....	8

## はじめに

本機の特長 .....	9
各部の名称と働き .....	10
前面 .....	10
後面 .....	13
接続する .....	15
外部装置との接続 (1) .....	15
外部装置との接続 (2) .....	16
電源を入れる・切る .....	17
お使いになる前に .....	18
NTSC/PAL のどちらかを選択する .....	18
日付・時刻を設定する .....	20
リモートインターフェースを選択する .....	21

## 記録

ディスクの取り扱い .....	23
使用可能なディスク .....	23
取り扱い上の注意 .....	23
ディスクを出し入れする .....	24
記録前の準備 .....	25
入力信号を選択する .....	25
録画モードを選択する .....	26
記録する .....	27
タイトルの記録を開始する .....	27
記録中にインデックスをつける .....	28
フットスイッチを使用する場合 .....	29
タイトルに情報をつける .....	30
プリレック機能 .....	30
記録中ディスクがいっぱいになった場合 .....	31
ディスクをファイナライズする .....	33
ディスクを初期化する .....	34

## 再生

再生する .....	35
再生可能なディスクについて .....	35
再生する .....	35
順方向・逆方向の早送り再生をする .....	35
再生中にインデックスを追加する .....	35
見たいところを探す .....	36
タイトルの頭出しをする .....	36
チャプターの頭出しをする .....	36
繰り返し再生をする .....	37
任意の 2 点間を繰り返し再生する (A-B 点リPEAT) .....	37
チャプターを繰り返し再生する .....	39
タイトルを繰り返し再生する .....	39
タイトルリストから選んで再生する .....	40
ディスクの情報を見る .....	41
静止画像を見る .....	42

## 編集

タイトルを編集する .....	43
タイトルの情報を見る／編集する .....	43
タイトルを保護する .....	44
タイトルを消去する .....	45

## メニュー

メニューの構成と一覧 .....	47
メニューの構成 .....	47
メニューの一覧 .....	47
メニューの基本操作 .....	51

## その他

メッセージ一覧 .....	53
エラーメッセージ .....	53
警告メッセージ .....	53
故障かな?と思ったら .....	57
仕様 .....	58
一般 .....	58
入出力 .....	59
制御 .....	59
その他 .....	59

MPEG-2 Video Patent Portfolio License	
について .....	60
保証書とアフターサービス .....	60
別売りのリモートコントロールユニット	
SVRM-100A について .....	61
各部の名称と働き .....	61
インデックスをつける .....	61
見たい画面を探す - インデックススキャン .....	62
見たい画面をインデックス番号で指定して頭出し	
をする - インデックスサーチ .....	62
インデックスを消去する .....	62
用語解説 .....	63
五十音順 .....	63
アルファベット順 .....	63
索引 .....	64

## 必ずお読みください

### 著作権について

- あなたが本機に録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- 本製品は、著作権保護技術を使用しており、マクロビジョン社およびその他の著作権利者が保有する米国特許およびその他の知的財産権によって保護されています。この著作権保護技術の使用は、マクロビジョン社の特別な許可がない限り家庭用およびその他の一部の鑑賞用の使用に制限されています。分解したり、改造することも禁じられています。
- 本機は、複製防止機能（コピーガード）を搭載しており、著作権者等によって複製を制限する旨の信号が記録されているソフトおよび放送番組は録音することができません。
- 本機は、無許諾のディスク（海賊版等）の再生を制限する機能を搭載しており、このようなディスクを再生することはできません。

### 録画内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で記録・再生ができなかった場合の内容の補償、記録・編集されたデータの破損・消失及びそれに付随するあらゆる損害において、当社は一切責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。以下のような操作を行うと不具合が生じる場合があります。

- 本機で記録・編集されたディスクを他の DVD レコーダーやパソコンの DVD ドライブで動作させた場合。
- 上記の動作を行ったディスクを再び本機で動作させた場合。
- 他の DVD レコーダーやパソコンの DVD ドライブで記録したディスクを本機で使用した場合。



下記の注意を守らないと、  
**火災**や**感電**により**死亡**や**大けが**に  
つながることがあります。



禁止

### 電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近付いたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグをもって抜く。

万一、電源コードが傷んだら、ソニーのサービス窓口にご依頼ください。



禁止

### 雨のあたる場所や、油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所には設置しない

上記のような場所や取扱説明書に記されている使用条件以外の環境に設置すると、火災や感電の原因となることがあります。



禁止

### 内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、ソニーのサービス窓口にご相談ください。



指示

### 電源コードのプラグおよびコネクタは突き当たるまで差し込む

真っ直ぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



指示

### 指定された電源コードを使用する

指定以外の電源コードを使用すると、火災や感電の原因となります。



下記の注意を守らないと、  
**けが**をしたり周辺の商品に**損害**を与える  
ことがあります。



ぬれ手禁止

### ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



禁止

### 製品の上に乗らない、重いものに乗せない

倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



指示

### コード類は正しく配置する

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。充分注意して接続・配置してください。



禁止

### 通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 壁から 10cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。



禁止

### 不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところに設置すると、倒れたり落ちたりしてけがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



## 安全アースを接続する

アース線を  
接続せよ

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。

次の方法でアースを接続してください。

- ・電源コンセントが3極の場合  
指定の電源コードを使用することで安全アースが接続されます。
- ・電源コンセントが2極の場合  
別売りの3極 → 2極変換プラグを使用し、変換プラグから出ているアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。

安全アースを取付けることができない場合は、ソニーのサービス窓口にご相談ください。



分解禁止

## 分解や改造をしない

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。

内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



禁止

## ファンが止まったままの状態で使用しない

ファンモーターが故障すると、火災の原因となることがあります。

交換は、本機を購入された販売店にご相談ください。



指示

## 定期的に内部の掃除を依頼する

長い間、掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。(有料)

特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をするとより効果的です。



禁止

## トレイの前に物を置かない

ディスクトレイが開く際に、物が倒れて破損やけがの原因となることがあります。本体の前に物を置かないでください。



禁止

## ひび割れ、変形したディスクや補修したディスクを再生しない

本体内部でディスクが破損し、けがの原因となることがあります。

# その他の安全上のご注意

## 設置上のご注意

設置時には、通気やサービス性を考慮して設置スペースを確保してください。

ーファンの排気部や通気孔（底面）をふさがない。

ー通気のために、セット周辺に空間をあける。

ー作業エリアを確保するため、セット後方は、10 cm 以上の空間をあける。

机上などの平面に設置する場合は、左側面および右側面は4 cm 以上の空間をそれぞれ確保してください。ただし、セット上部はサービス性を考慮し10 cm 以上の空間を確保することを推奨します。

## 重要

機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

## 3極 → 2極変換プラグをご使用になる場合のご注意

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。

アースの接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

## 注意

本製品または別売り品を廃棄するときは、関連した地域または国の法律、および関連した病院の規則にしたがって実施されなければなりません。

## グラフィックシンボルの説明



このシンボルは、システムの各部分と同じ電位にするための、等電位端子を示しています。



### 取扱説明書参照

本機にこのマークがある箇所は、本取扱説明書の指示にしたがってご使用ください。



このシンボルは製造業者を表し、隣接して製造業者名と住所が併記されます。

## 警告

主電源を切断するには、電源プラグを抜いてください。

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。電源プラグを抜くことが困難な場所にME機器を設置しないでください。万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

## 注意

本機の電源スイッチは、後面に備えられています。設置の際には、電源スイッチに容易にアクセス出来るようにしてください。

## 注意

機器を水滴のかかる場所に置かないでください。また水の入った物、花瓶などを機器の上に置かないでください。

## 注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。ソニー推奨の電源コードセットをご使用下さい。

## 警告

イヤホンやヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

## 注意

ここに規定した以外の手順による制御および調整は、危険なレーザー放射の被爆をもたらします。

本機は、「クラス 1 レーザー製品」です。

# 使用上のご注意

安全にご使用いただくために、「安全のために」(2 ページ)、「警告」(5 ページ)、「注意」(5 ページ)と併せてご覧ください。

## 取り扱い・保管上のご注意

### 長期間使わないときは

本機前面の電源スイッチをオフにし、次に後面の MAIN POWER スwitch をオフにして電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

### 設置場所について

次のような場所での使用および保管は避けてください。

- ・ 極端に暑い場所や寒い場所
- ・ 湿気が多い場所
- ・ 激しく振動する場所
- ・ 直射日光が当たる場所
- ・ チューナーやテレビ、ビデオデッキから近い所。
- ・ 本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水の掛かる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

### ディスクが入っているときは

記録中や再生中など、ディスクが入っているときに本機を動かしたり、振動、衝撃を与えると、ディスクを傷めることがあります。

また、ディスクを入れたまま移動させるとディスクを傷めることがあります。移動させるときには、ディスクを必ず取り出してください。

### 結露について

本機を冷たい場所から暖かい場所に移したり、湿気の多い場所で使用したりすると、空気中に含まれる水蒸気が、光学ピックアップに水滴となって付着することがあります。これを結露といい、このような状態で本機を使用すると、記録・再生が正常に行われない可能性があります。電源スイッチを入れたとき、以下のメッセージが表示された場合は、表示が消えるまでディスクを入れないでください。

モニター画面：MOISTURE HAS BEEN DETECTED.  
フロントパネルディスプレイ：HUMID!

---

## HDD 搭載機器に対する注意事項

本機には、ハードディスクドライブ（以下 HDD と称する）が搭載されています。HDD は精密部品であり、衝撃・振動・静電気・温度・湿度が原因で故障したり、HDD 内のデータが破損するおそれがあります。本機を設置・使用するときは、以下の注意事項をよくお読みのうえ、慎重に取り扱ってください。

### 衝撃・振動を与えない

衝撃・振動が加わると HDD が故障あるいは HDD 内のデータが破損されるおそれがあります。

- ・本機を輸送する場合は、指定の梱包材料で梱包してください。台車などで搬送する場合は、振動の少ない台車を使用してください。過度な衝撃・振動が加わると HDD が故障するおそれがあります。
- ・通電中は本機を移動しないでください。本機をラックから出し入れするときも、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- ・ラック内にあるすべての HDD 搭載機器に衝撃を与えないでください。
- ・本機をラックから出し入れするとき、ラック内に通電中の HDD 搭載機器がある場合は、必ずその機器の電源をオフにしてください。
- ・本機の外装を取り外さないでください。
- ・本機を床などに置くときは、本機の底に必ず指定のゴム脚がついている状態で、静かに降ろしてください。脚が付いていない場合は、脚を取り付けてから置いてください。
- ・振動を発生する機器の近くには置かないでください。

### 電源オフ後 30 秒間は作業しない

電源をオフにした後もしばらくの間は、HDD 内のディスクは慣性で回転しており、ヘッドは不安定な状態にあります。この期間は、通電中以上に衝撃・振動に弱い状態です。電源オフ後、最低 30 秒間は軽い衝撃も与えないようご注意ください。30 秒以上経過すれば、(ディスクが静止するので) 作業を開始できます。

### 温度・湿度に関するご注意

適正範囲内の温度・湿度のある場所で、保管・使用してください。

動作温度：5℃～40℃

動作湿度：20%～80%（結露のないこと）

保存温度：-20℃～+60℃

保存湿度：20%～90%（結露のないこと）

### HDD に不良症状が現れた場合

万一、本機の HDD が故障した（不良症状が現れた）と思われる場合でも、本機の取り扱い、上記と同様に行っ

てください。不良内容の確認や不良解析を行うまでの損傷の拡大を防ぎます。

### HDD の交換

HDD は消耗品です。常温でのご使用の場合、2 年または 10,000 時間を目安に交換してください。ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、部品の寿命を保証するものではありません。動作保障範囲内の温度であっても、使用環境温度が高くなるほど寿命が短くなります。交換の際はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

---

## お手入れ

### キャビネットのクリーニング

- ・キャビネットの汚れがひどいときは、水または水で薄めた中性洗剤溶液で湿らせた布を固くしぼってから、汚れをふきとってください。このあと、乾いた布でからぶきしてください。
- ・シンナーやベンジン、アルコール、化学ぞうきんなどは、表面の仕上げをいためることがありますので、使用しないでください。

### ディスクの取り扱い・お手入れ

ディスクの取り扱い・お手入れについては、「ディスクの取り扱い」（23 ページ）をご覧ください。

## 本機の特長

DVO-1000MD は、ビデオ機器など外部装置から送られてくるビデオ信号と音声信号をそれぞれ MPEG-2、ドルビーデジタル (2CH) に圧縮し、DVD+RW ディスクに記録する DVD レコーダーです。

### 書き換え可能な DVD+RW<sup>1)</sup> ディスクをリムーバブルディスクとして採用

書き換え可能な DVD+RW ディスクをリムーバブルディスクとして採用していますので、自動的にファイナライズされ、DVD+RW 対応機器で再生が可能です。記録開始時は、自動的に空白のスペースを探し出し、記録を始めますので、頭出しをする必要がなく、ディスクを入れてすぐに記録を開始することができます。

1)  は、商標です。

### 高画質、長時間記録

映像に応じて MPEG2 圧縮率をダイナミックに変更可変する VBR (Variable Bit Rate) 記録を採用していますので、記録時間に対応した高画質を実現します。

また、画質は、HQ (約 60 分 : CBR (Constant Bit Rate))、SP (約 120 分 : VBR)、LP (約 180 分 : VBR) の 3 種類から選択できます。

### 画像にインデックスを記録

画像のポイントとなる個所にインデックスをつけられます。再生時に瞬時に目的のポイントを見たり、インデックス間を繰り返して再生することもできます。

### 高音質記録

ドルビーデジタル<sup>1)</sup>方式の採用により、画像の記録と同時に音声を高音質で記録することができます。

1) 本機はドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。  
Dolby、およびダブル D 記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

### クイックサーチ機能を使って再生

- ・タイトル頭出し機能
- ・インデックス頭出し機能  
インデックスごとの頭出しが可能です。
- ・タイトルリスト  
ディスクに記録したタイトルを画面に一覧表示でき、リストにしたがって頭出しが可能です。

## 多彩な入出力をサポート

### デジタルインターフェース

i.LINK<sup>1)</sup> 端子を装備していますので、DV フォーマットのデジタルビデオ／オーディオ信号を入力することができます。

1) i.LINK は、IEEE1394-1995 および拡張仕様を示す呼称です。i.LINK と  は、ソニー株式会社の商標です。

### アナログインターフェース

本機はアナログビデオ／オーディオ機器とも接続して使用できるように、以下のアナログインターフェースを装備しています。

- ・アナログビデオ
  - －コンポジット入 (スルー付き) / 出力
  - －S ビデオ入 (スルー付き) / 出力
- ・アナログオーディオ
  - －L/R ピンジャック入 / 出力
  - －モニター出力

### コントロールインターフェース

本機は次のコントロールインターフェースを装備しています。

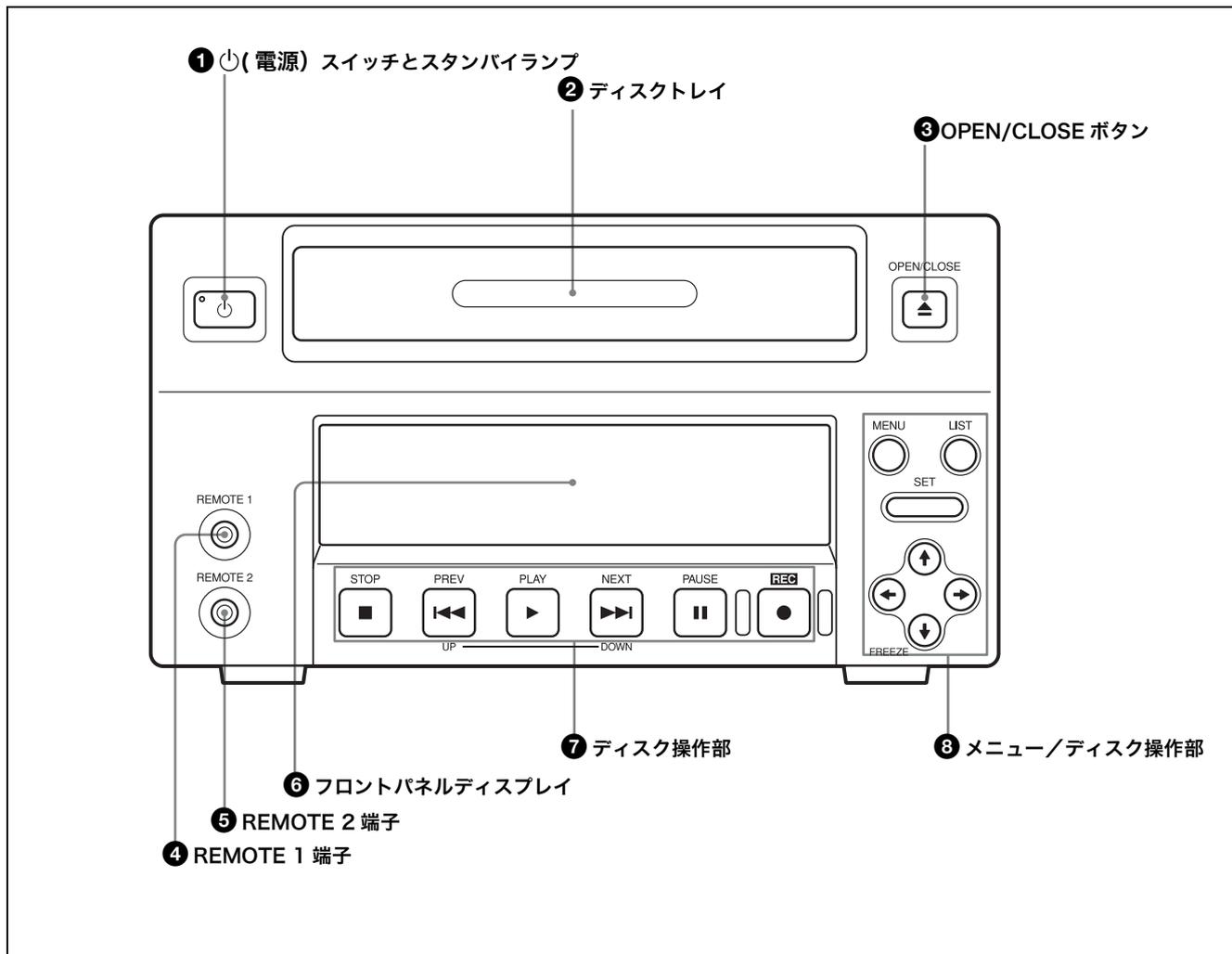
- ・RS-232C インターフェース / USB インターフェース  
SVO-9500MD とのプロトコルの互換性を持つ 9 ピン RS-232C インターフェースと USB インターフェースを装備しています。従来の本機のリモートコントロールのほかに、新たに以下の操作が可能となります。
  - －タイトルごとのメタデータ入出力  
外部装置からタイトルごとに、名前、ID、作成日時など、メタデータを記録することができます。
  - －リアルタイム更新データの入 / 出力
- ・i.LINK インターフェース  
AV/C プロトコルに対応しています。  
RS-232C、USB インターフェース、または i.LINK のいずれのリモートインターフェースを使用するかは、メニューで選択します。
- ・リモコンを使った操作  
以下のリモコンが使用できます。
  - －SVRM-100A (別売り)

### コンパクトな設計

コンパクトな、省スペースの設計となっていますので、スペースの限られる場所での使用などに適しています。

# 各部の名称と働き

## 前面



- 1** 冫 (電源) スイッチとスタンバイランプ  
押すと電源が入り、フロントパネルディスプレイが点灯します。もう一度押すと電源が切れます。後面の MAIN POWER スイッチ (13 ページ) がオン側に設定されていると、本電源スイッチが入っていてもスタンバイランプは緑色に点灯しています。

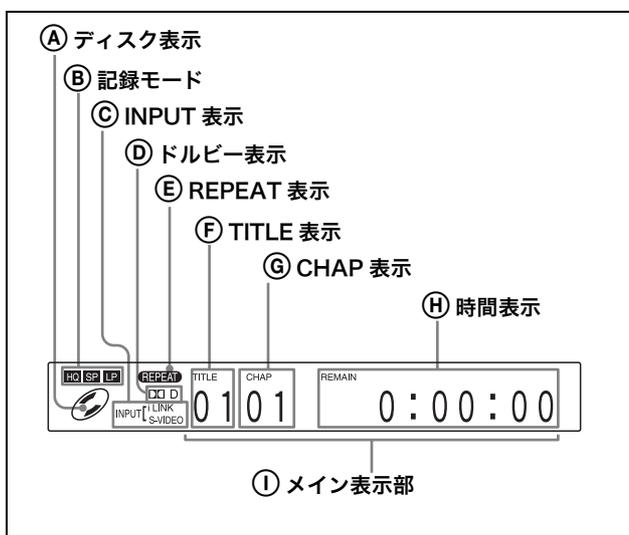
### ご注意

後面の MAIN POWER スイッチがオン側に設定されていないと、冫 (電源) スイッチを押しても電源が入りません。

- 2** ディスクトレイ  
ディスクの出し入れをするトレイです。

- 3** OPEN/CLOSE (ディスクトレイ開閉) ボタン  
ディスクトレイを開け閉めするときに押します。
- 4** REMOTE 1 (リモート 1) 端子 (ステレオミニジャック)  
別売りのリモートコントロールユニット SVRM-100A を接続します。
- 5** REMOTE 2 (リモート 2) 端子 (ミニジャック)  
別売りのフットスイッチを接続します。記録のスタート、一時停止をリモートコントロールできます。

## 6 フロントパネルディスプレイ



### A ディスク表示

本機で再生、記録が可能な DVD+RW ディスクがトレイに入っているときに表示されます。ディスクトレイが開くと消えます。また、対応できないディスクがトレイに入っているときは、表示されません。

### B 記録モード

記録モードを表示します。再生中は、再生しているディスクの記録モードを、記録中は、記録中の記録モードが表示されます。他のレコーダーで記録されたディスクが再生された場合は、表示されません。

### C INPUT (入力信号) 表示

現在選択されている入力信号を表示します。

入力端子	表示
S-VIDEO IN	S-VIDEO
VIDEO IN	VIDEO
DV IN (i.LINK)	i.LINK

### D ドルビー表示

ドルビー デジタルフォーマット以外で記録された音声信号を再生しているときには消灯します。

### E REPEAT (リピート) 表示

繰り返し再生モード中に表示されます。

◆繰り返し再生モードについて詳しくは、「繰り返し再生をする」(37 ページ)をご覧ください。

### F TITLE (タイトル) 表示

記録中、または再生中のタイトル番号を表示します。

### G CHAP (チャプター) 表示

記録中、または再生中のチャプター番号を表示します。

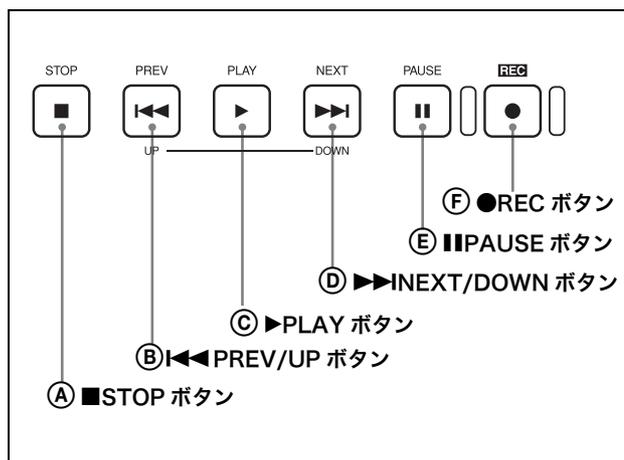
### H 時間表示

通常動作時は、経過時間を表示します。記録時は、SETUP MENU の REC COUNTER (50 ページ参照) の設定に応じて、経過時間、またはディスクの残量を表示します。ディスクの残量表示が選択されている場合は、「REMAIN」が点灯します。

### I メイン表示部

メニュー操作時、リスト操作時は、選択内容を表示します。異常動作時は、エラーコード、警告メッセージを表示します。本書では、メニュー操作の説明は、モニター画面を使用して説明しています。フロントパネルディスプレイには、現在、メニュー画面で白黒反転されている項目が表示されます。

## 7 ディスク操作部



### A ■STOP (停止) ボタン

記録、または再生を止めるときに押します。

### B ◀◀PREV/UP (プレVIOUS/アップ) ボタン

PREV : チャプターの頭出し (ジャンプ) に使用します。

1 回押すと現在再生中のチャプターの先頭にジャンプします。

2 回押すと現在再生中のチャプターの前のチャプターの先頭にジャンプします。

▶PLAY ボタンを押したまま本ボタンを押すと、逆方向に3倍速再生します。

UP : TITLE LIST 画面などで前のページに戻るときに使用します。

③ ▶PLAY (再生) ボタン

再生するときに押します。押すとランプが点灯し、再生が始まります。

④ ▶▶INEXT/DOWN (ネクスト/ダウン) ボタン

**NEXT** : チャプターの頭出しに使用します。

1 回押すと現在再生中のチャプターの次のチャプターの先頭にジャンプします。

▶PLAY ボタンを押したまま本ボタンを押すと、3 倍速再生をします。

**DOWN** : TITLE LIST 画面などで次のページに移動するときに使用します。

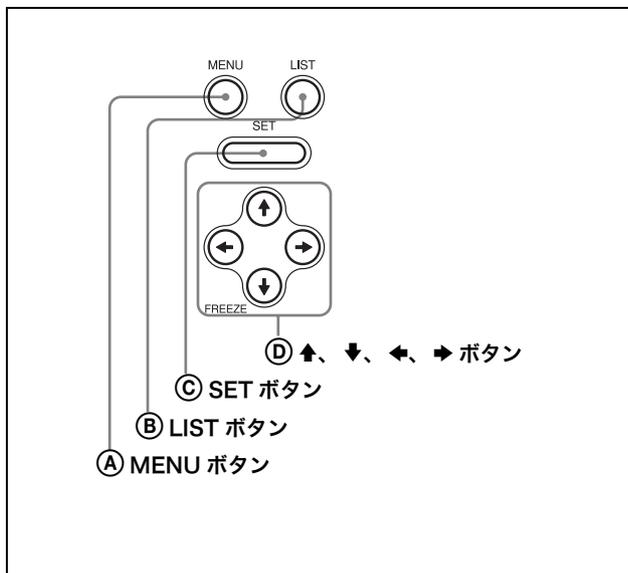
⑤ ■PAUSE (一時停止) ボタン

再生中にこのボタンを押すと、再生を一時停止し、静止画が表示されます。本ボタンを再度押すか、または ▶PLAY ボタンを押すと、再生が再開されます。また、記録中にこのボタンを押すと、記録を一時的に停止することができます。再度押すと、記録が再開されます。

⑥ ●REC (記録) ボタン

このボタンを押すと、ランプが点灯し、記録が始まります。

⑧ メニュー/ディスク操作部



① MENU (メニュー) ボタン

メニュー操作を行うときに押します。押すとフロントパネルディスプレイとモニター画面にメニューが表示されます。再度押すと、元の画面にもどります。

② LIST (リスト) ボタン

押すと、TITLE LIST メニュー画面が表示されます。

③ SET (セット) ボタン

メニュー画面、タイトル画面で行った操作を確定するときに押します。

④ ↑、↓、←、→ (カーソル移動) ボタン

メニュー操作時に使用します。カーソルを移動させて、メニュー項目を選択します。

←、→ ボタンは、再生中の頭出し (ジャンプ) にも使用します。

← ボタン: 再生中に 1 回押すと現在再生中のタイトルの先頭にジャンプします。2 回押すと現在再生中のタイトルの前のタイトルの先頭にジャンプします。停止状態で、← ボタンと SET ボタンを同時に押すと、ディスク内の最初のタイトルの先頭にジャンプします。

→ ボタン: 1 回押すと現在再生中のタイトルの次のタイトルの先頭にジャンプします。

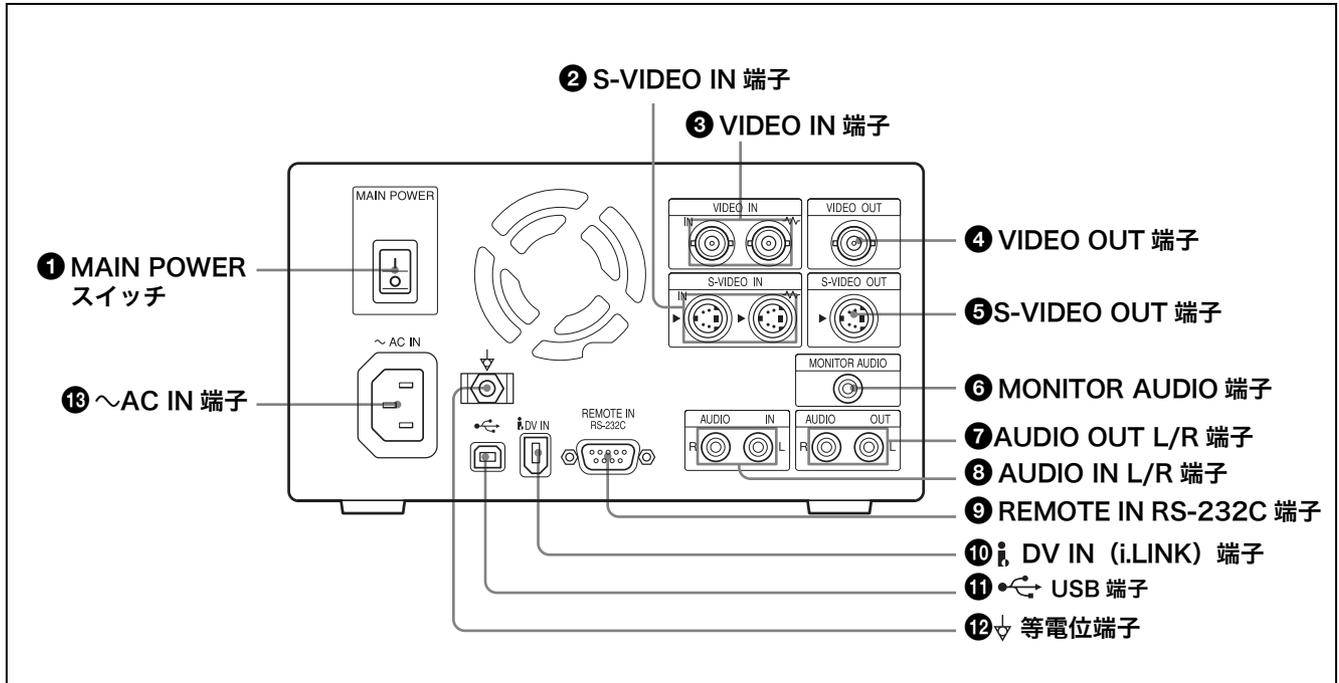
停止状態で、→ ボタンと SET ボタンを同時に押すと、ディスクの最後のチャプターの先頭にジャンプします。

◆タイトルについて詳しくは、27 ページをご覧ください。またチャプターについては、29 ページをご覧ください。

▼ (FREEZE) ボタン: 再生中に 1 回押すとフレームの静止画、もう 1 回押すと第 1 フィールドの静止画、次に押すと第 2 フィールドの静止画とボタンを押すたびにこの 3 つの静止画が順番に繰り返し画面に表示されます。最初に ▼ ボタンを押したときに、フレームの静止画にするか、フィールドの静止画にするかは、SETUP MENU の FREEZE MODE を使用して選択できます。(49 ページ参照)

**ご注意**

メニュー画面、タイトル画面が表示されているときは、FREEZE ボタンとしての機能はありません。カーソル移動ボタンとしてのみ働きます。



**1 MAIN POWER (主電源) スイッチ**

本機の電源の入/切をします。I (オン) 側を押すと主電源が入ります。主電源を切るときは、O (オフ) 側を押します。通常は、オンのままにしておき、前面の電源スイッチのみで電源を入/切します。

**ご注意**

本機をしばらく使用しないなどの理由で、主電源を切る場合は、前面の電源スイッチをオフにしてから、このスイッチをオフにしてください。

**2 S-VIDEO IN (S ビデオ信号入力) 端子 (4 ピンミニ DIN 端子)**

左側の端子にアナログの S ビデオ信号を入力します。2 個の端子はループスルーになっており、左側に S ビデオ信号を入力すると、右側の端子 (≡) から同じ信号が出力されます。右側の端子に何も接続されていない場合は、自動的に 75Ω で終端されます。

**3 VIDEO IN (ビデオ信号入力) 端子 (BNC 型)**

左側の端子にアナログのコンポジットビデオ信号を入力します。2 個の端子はループスルーになっており、左側にコンポジットビデオ信号を入力すると、右側の端子 (≡) から同じ信号が出力されます。右側の端子に何も接続されていない場合は、自動的に 75Ω で終端されます。

**4 VIDEO OUT (ビデオ信号出力) 端子 (BNC 型)**

アナログのコンポジットビデオ信号を出力します。

**5 S-VIDEO OUT (S ビデオ信号出力) 端子 (4 ピンミニ DIN 端子)**

アナログの S ビデオ信号を出力します。

**6 MONITOR AUDIO (オーディオモニター出力) 端子 (ピンジャック)**

モニター用のモノラルの音声信号を出力します。SETUP MENU の AUDIO MON CH (48 ページ参照) で、出力信号を、音声チャンネル 1、音声チャンネル 2、または音声チャンネル 1 と音声チャンネル 2 のミックスされた音声の中から選択できます。

**7 AUDIO OUT L/R (音声信号出力チャンネル L/R) 端子 (ピンジャック)**

音声信号を出力します。

**8 AUDIO IN L/R (音声信号入力チャンネル L/R) 端子 (ピンジャック)**

音声信号を入力します。

**9 REMOTE IN RS-232C 端子 (9 ピン)**

SVO-9500MD とのプロトコルの互換性を持つ 9 ピン RS-232C インターフェースです。本機を RS-232C インターフェースを持つ外部装置などからコントロールするとき、この端子に接続します。

**10 DV IN (i.LINK) 入力端子 (6 ピン)**

i.LINK に準拠したデジタルビデオ信号を入力します。

また、i.LINK インターフェースを装備する外部装置と接続して、リモートコントロールできます。

**11** ●↔ **USB 端子**

本機を USB インターフェースを持つ外部装置などからコントロールするとき、この端子に接続します。USB2.0 (Full Speed (12Mbps) までサポート) に対応しています。

**12** ⚡ **等電位端子**

本機に接続したすべての機器の電位が等しくなります。

**13** ~ **AC IN (電源入力) 端子**

指定の電源コードを使って、電源コンセントに接続します。

◆電源コードについて詳しくは、「仕様」の「その他」(59 ページ) をご覧ください。

# 接続する

## ご注意

- ・ 接続するときはすべての機器の電源を必ず切ってください。
- ・ 電源コードは最後に接続してください。

- ・ 3極→2極変換プラグを使用する場合、アースの接続は、必ず電源プラグを電源コードに接続する前に行ってください。また、3極→2極変換プラグのアース線を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いてから行ってください。

## 外部装置との接続 (1)

外部の映像装置などと接続し、リモートコントロールユニットやフットスイッチを使って操作する場合の接続例を示します。

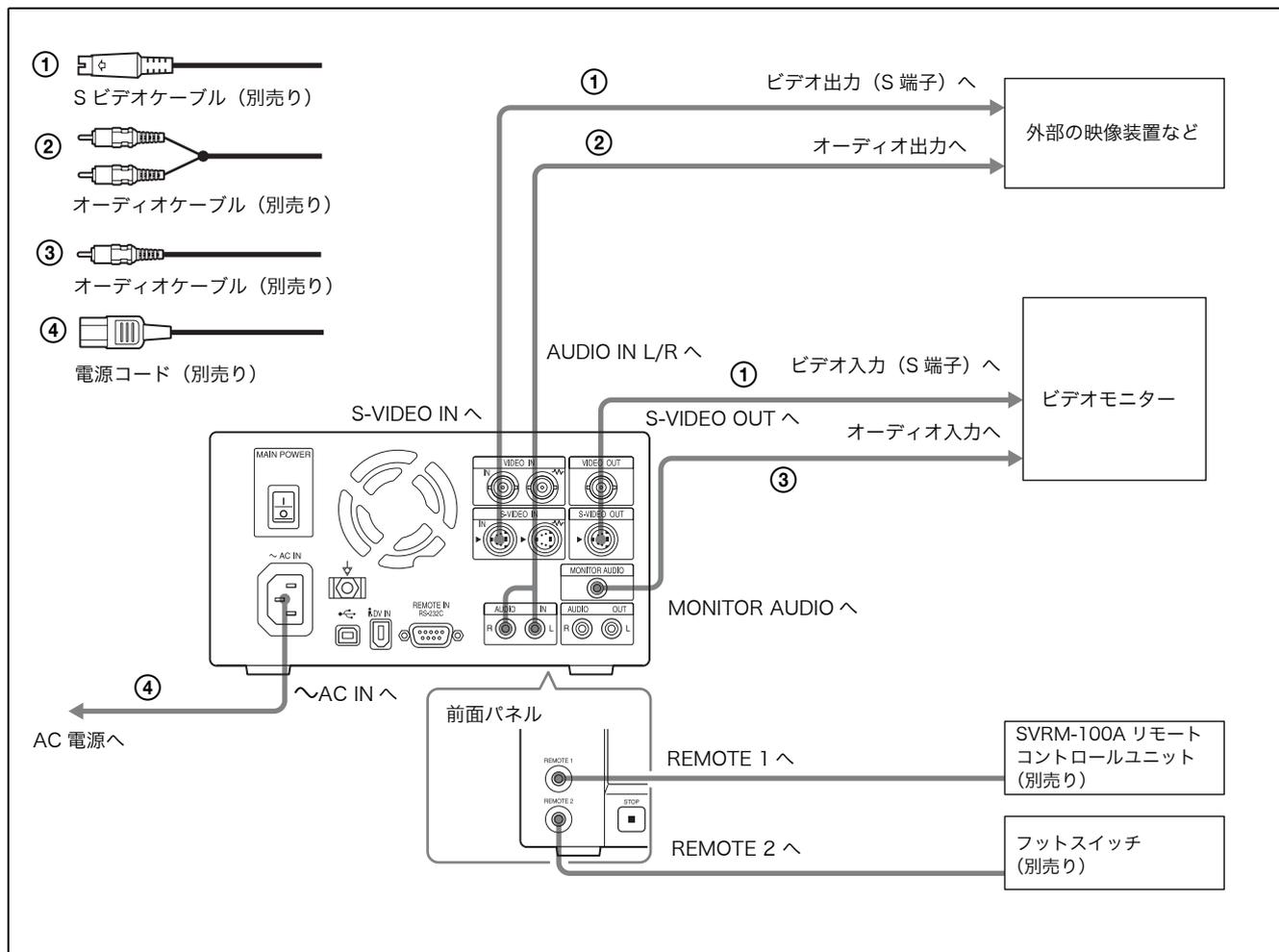
### 接続前の準備

ここに示す接続例で本機を使用する場合は、事前にSETUP MENUで以下の設定を行ってください。

- ◆ メニュー操作について詳しくは、「メニューの基本操作」(51ページ)をご覧ください。
- ・ **オーディオ出力の選択**  
SETUP MENUのAUDIO MON CHで出力するチャンネルを選択します。(48ページ参照)

LCH：音声チャンネル1を出力します。  
RCH：音声チャンネル2を出力します。  
MIX：音声チャンネル1と2がミックスされた音声出力します。(初期設定)

- ・ **入力信号の選択**  
SETUP MENUのINPUT SELECTでANALOGを選択します。(25ページ参照)
- ・ **フットスイッチの動作の選択**  
SETUP MENUのFOOT SWでフットスイッチの動作をLOW EDGE(初期設定)、HIG EDGE、LOW ACTIVEの中から選択します。(29ページ参照)



## 外部装置との接続 (2)

外部装置と接続し、外部装置から本機を操作する場合の接続例を示します。

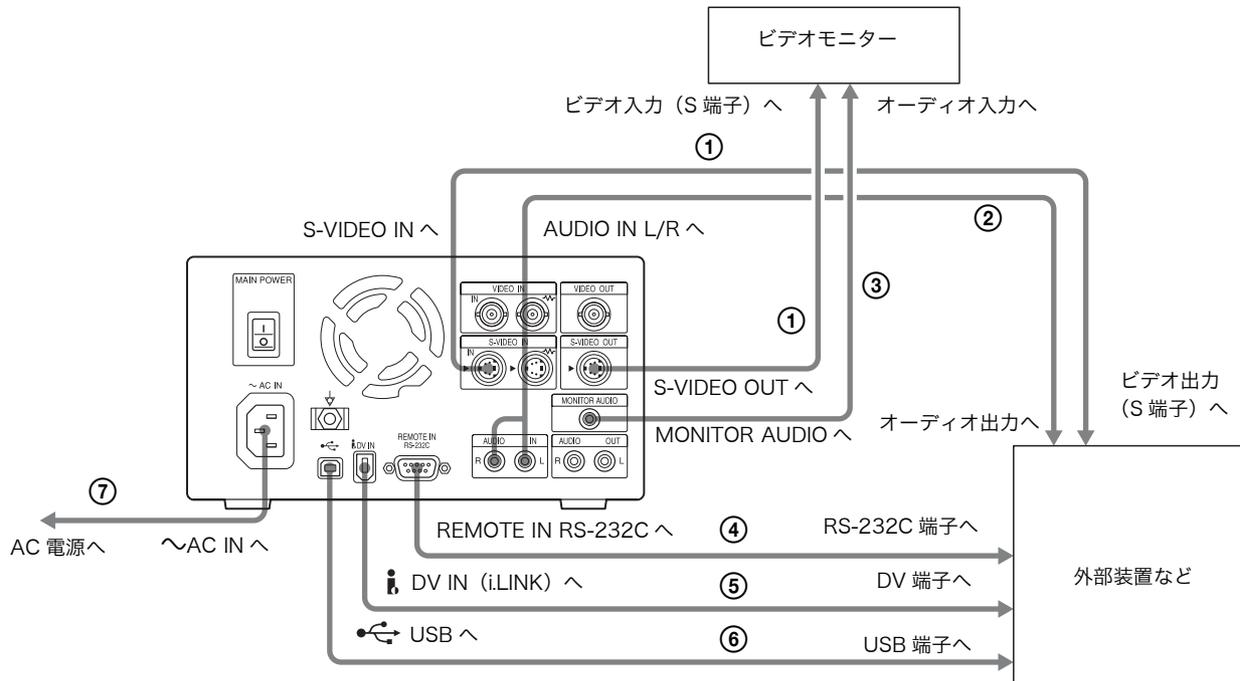
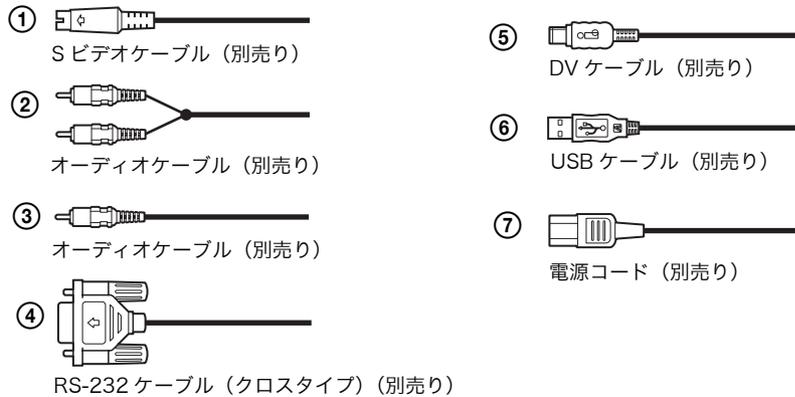
### 接続前の準備

ここに示す接続例で本機を使用する場合は、事前に SETUP MENU で以下の設定を行ってください。

- ◆ メニュー操作について詳しくは、「メニューの基本操作」(51 ページ)をご覧ください。
- **オーディオ出力の選択**  
SETUP MENU の AUDIO MON CH で出力するチャンネルを選択します。(48 ページ参照)

LCH：音声チャンネル 1 を出力します。  
RCH：音声チャンネル 2 を出力します。  
MIX：音声チャンネル 1 と 2 がミックスされた音声  
を出力します。(初期設定)

- **入力信号の選択**  
SETUP MENU の INPUT SELECT で ANALOG を選択  
します。(25 ページ参照)
- **リモートコントロール方法の選択**  
SETUP MENU の REMOTE I/F でリモートコント  
ロール方法を RS232C (初期設定)、USB、iLINK の  
中から選択します。(21 ページ参照)

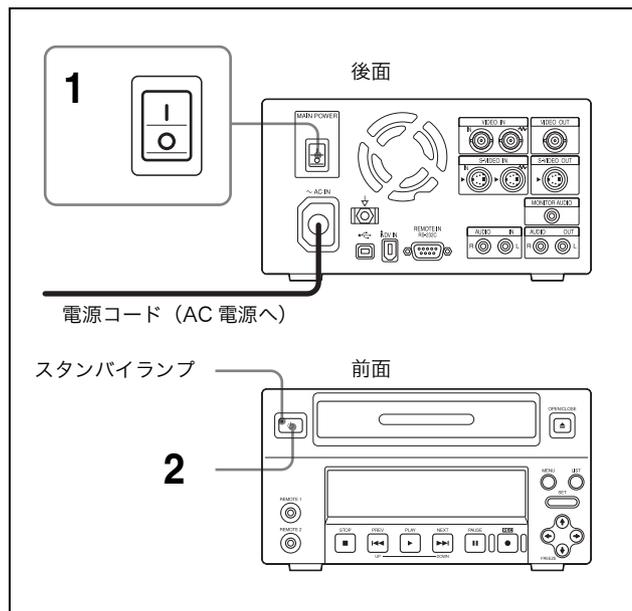


### ご注意

本機をリモートコントロールする場合、RS232C、USB、iLINK の 3 つのインターフェースのうち 1 つだけしか利用できません。

# 電源を入れる・切る

## 電源を入れるには



- 1 前面パネルの **⏻** (電源) スイッチを押して電源を切り、スタンバイ状態にする。
- 2 後面の MAIN POWER スイッチを **O** (オフ) 側にする。

前面パネルのスタンバイランプが消灯し、電源が切れます。

- 1 後面の MAIN POWER スイッチを **I** (オン) 側にする。

前面パネルのスタンバイランプが緑色に点灯します。

- 2 前面パネルの **⏻** (電源) スイッチを押す。

電源が入り、フロントパネルディスプレイが点灯し、「Welcome」が表示されます。

フロントパネルディスプレイの表示が、「Now Loading...」と変わり、「NO DISC!」になると、次の操作が可能となります。

ディスクが入っている場合は、「NO DISC!」ではなく、「0101 0:00:00」と表示され、次の操作が可能となります。

### 通常の操作時の電源の入/切は

前面パネルの **⏻** (電源) スイッチで電源の入/切をします。

再度押すと、フロントパネルディスプレイに「Good Bye」が表示された後消灯し、電源が切れます。本機はスタンバイ状態になります。

## 電源を切るには

本機を長い間使用しないときなどは、後面の MAIN POWER スイッチも切っておきます。

## お使いになる前に

接続が済んでから本機をご使用になる前に、以下の準備が必要です。

- NTSC/PAL の選択  
使用する国の映像信号方式に合わせて設定します。  
◆ 詳しくは、「NTSC/PAL のどちらかを選択する」(18 ページ)をご覧ください。
- 日付・時刻の設定  
本機を初めて起動したときに設定します。  
◆ 詳しくは、「日付・時刻を設定する」(20 ページ)をご覧ください。
- リモートインターフェースの選択  
本機をリモートコントロールするインターフェースを選択します。初期設定は RS-232C です。USB、i.LINK をご使用になる場合は、変更が必要です。  
◆ 詳しくは、「リモートインターフェースを選択する」(21 ページ)をご覧ください。

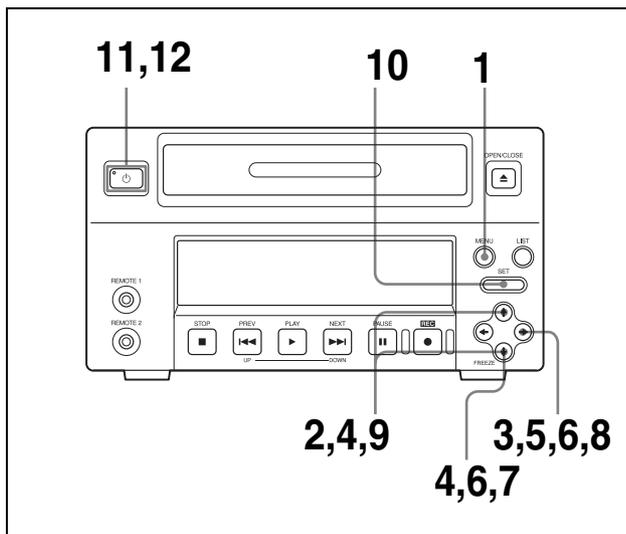
## NTSC/PAL のどちらかを選択する

本機を初めて起動したときは、まず SETUP MENU の ENHANCED MENU の TV SYSTEM サブメニューを使用して、NTSC、PAL のどちらかを選択します。

- ◆ メニュー操作について詳しくは「メニューの基本操作」(51 ページ)をご覧ください。

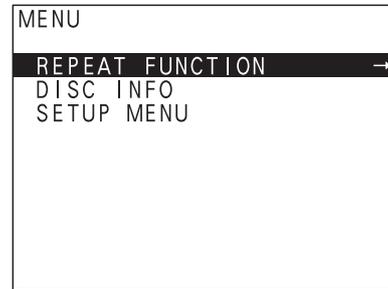
### ご注意

初期設定は、NTSC 方式です。モニターが NTSC 方式に対応していない場合でも、フロントパネルディスプレイのメイン表示部を使って、メニュー操作ができます。使用する国/地域の映像信号方式に合わせて、選択してください。

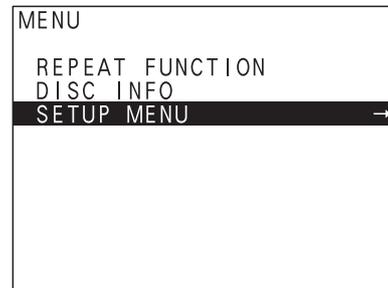


- 1 MENU ボタンを押す。

トップメニュー画面が表示されます。

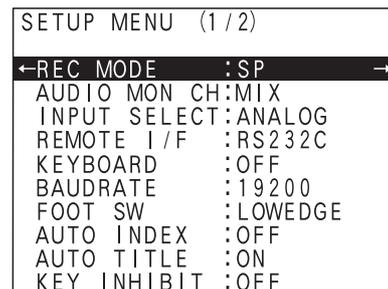


- 2 ↑、↓ ボタンを押して、SETUP MENU を白黒反転表示させる。



- 3 → ボタンを押す。

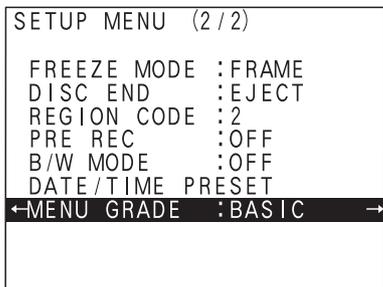
SETUP MENU 画面が表示されます。



- 4 SETUP MENU の MENU GRADE を白黒反転表示させる。

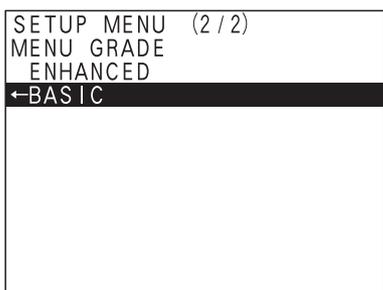
◆ ボタンを押して、最後の KEY INHIBIT を白黒反転表示させ、再度 ↓ ボタンを押すと、次のページが表示されます。

MENU GRADE が表示されるまで、**↓** ボタンを押します。



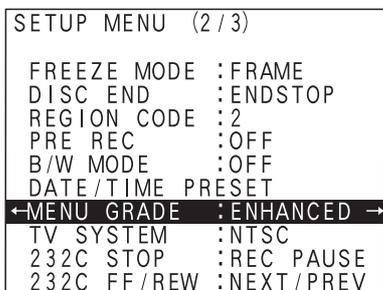
**5** **→** ボタンを押す。

以下の画面が表示されます。

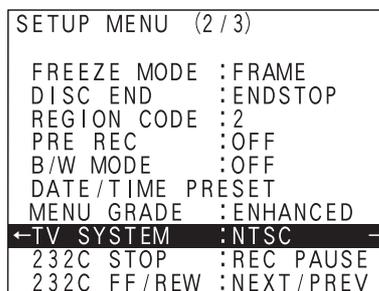


**6** **↓** ボタンを押して、ENHANCED を白黒反転表示させ、**←** ボタンを押す。

基本メニューの下に、拡張メニューが表示されます。

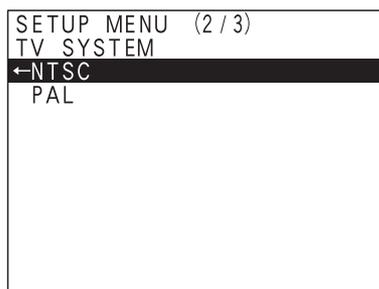


**7** **↓** ボタンを押して TV SYSTEM を白黒反転表示させる。



**8** **→** ボタンを押す。

TV SYSTEM サブメニューが表示されます。



**9** 前面パネルの **↑**、**↓** ボタンを使って、希望の映像方式を選択する。

選択した映像方式が白黒反転表示されます。

TV SYSTEM	内容
NTSC	NTSC 方式で記録/再生する場合
PAL	PAL 方式で記録/再生する場合

**10** SET ボタンを押す。

「NOW SAVING...」と表示され、保存が開始されます。

保存が終わると、メッセージが消え、モニター画面に「TV SYSTEM WAS CHANGED PLEASE POWER OFF」、フロントパネルディスプレイに「POWER OFF!」と表示されます。

**ご注意**

SET ボタンを押しただけでは、映像記録方式は切り換わりません。映像記録方式を変更したときは、必ず、手順 11、12 の操作を行ってください。

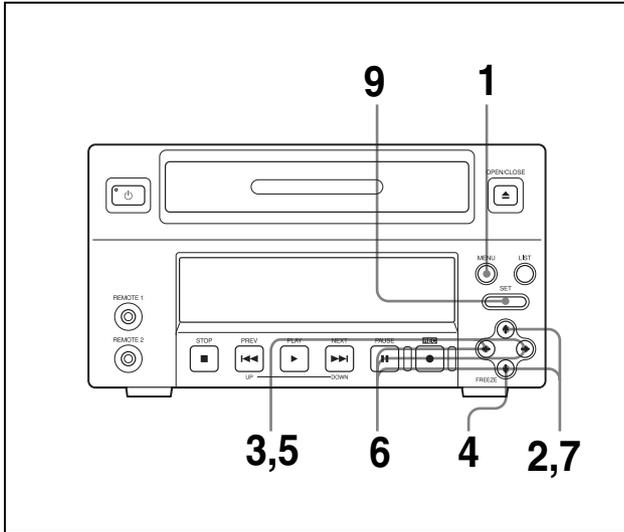
**11** 本機の前面パネルの **⏻** (電源) スイッチを押して、電源を切る。

フロントパネルディスプレイに「Good Bye」が表示された後、フロントパネルディスプレイが消灯します。本機はスタンバイ状態になります。次の操作に進みます。

- 12** 再度前面パネルの  (電源) スイッチを押して、電源を入れる。

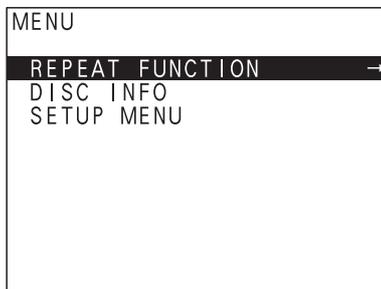
## 日付・時刻を設定する

日付と時刻を設定するには、SETUP MENU の DATE/TIME PRESET サブメニューで設定します。

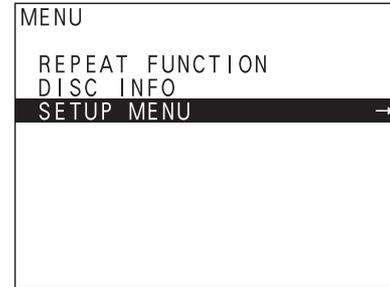


- 1** MENU ボタンを押す。

トップメニュー画面が表示されます。

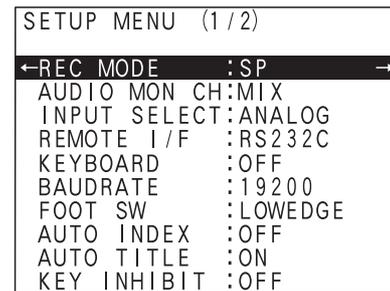


- 2** ,  ボタンを押して、SETUP MENU を白黒反転表示させる。



- 3**  ボタンを押す。

SETUP MENU 画面が表示されます。



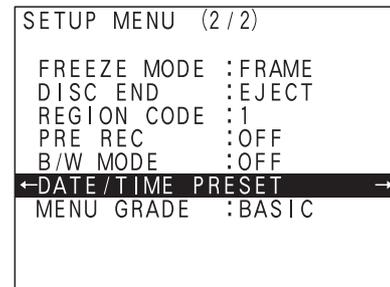
- 4** SETUP MENU の DATE/TIME PRESET を白黒反転表示させる。

,  ボタンを押すと、白黒反転する項目が1つずつ上、または下に移動します。

画面最後の項目を白黒反転表示させ、再度  ボタンを押すと、次のページが表示されます。

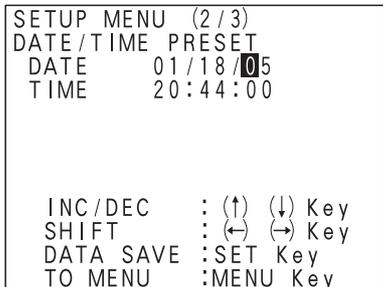
DATE/TIME PRESET が白黒反転表示されるまで、

 ボタンを押します。



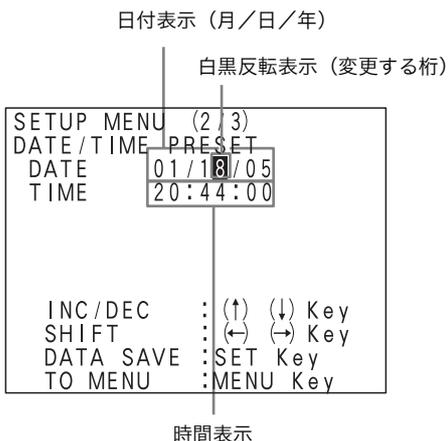
- 5**  ボタンを押す。

DATE/TIME PRESET サブメニューが表示されます。



6 ◀、▶ ボタンを使って設定する桁を選択する。

◀、▶ ボタンを押して、数値を変更したい桁を白黒反転表示させます。



#### 日付欄と時刻欄の間を移動するには

日付欄の右端が白黒反転しているときに、▶ ボタンを押すと、時刻欄の左端の桁が白黒反転します。時刻欄の左端の桁が白黒反転しているときに、◀ ボタンを押すと、日付欄の右端の桁が白黒反転します。

#### フロントパネルディスプレイの表示について

日付の欄を設定しているときは、日付の欄が、時刻を表示しているときは、時刻の欄が表示されます。

7 ▲、▼ ボタンを使って数値を設定する。

▲ ボタンを押すと：数値が大きくなります。

▼ ボタンを押すと：数値が小さくなります。

8 手順 6、7 を繰り返して、日付、時刻を設定する。

9 すべての数値を入力し終えたら、SET ボタンを押す。

日付・時間が確定されます。

「NOW SAVING...」と表示され、保存が開始されます。

保存が終わると、メッセージが消え、通常の画面に戻ります。

#### 日付・時刻の設定を取り止めるには

MENU ボタンを押します。上位階層の SETUP MENU (2/2)、または (2/3) に戻り、設定はキャンセルされます。再度 MENU ボタンを押すと、メニュー画面から抜け、通常の画面に戻ります。

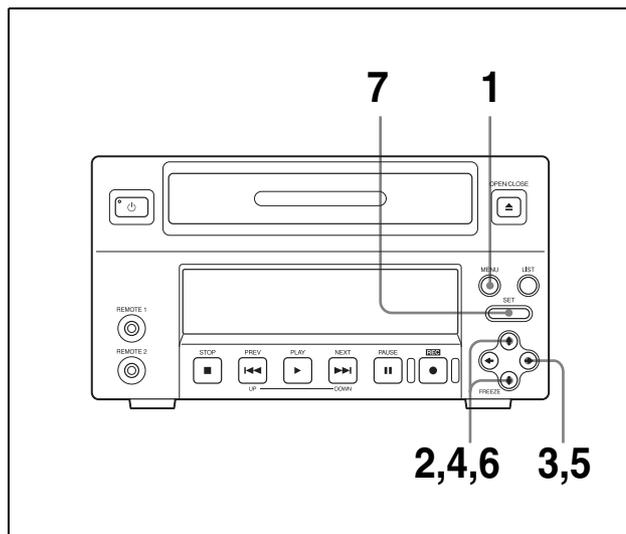
#### ご注意

この場合は、「ABORT!」というメッセージは表示されません。

## リモートインターフェースを選択する

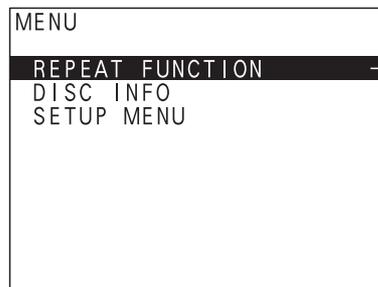
本機をリモートコントロールするインターフェースを選択するには、SETUP MENU の REMOTE I/F サブメニューで設定します。

初期設定は RS-232C インターフェースです。

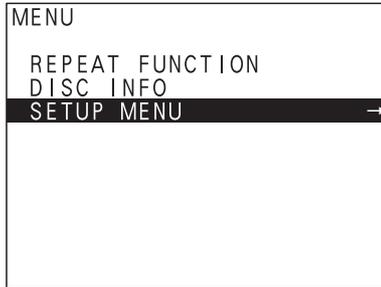


1 MENU ボタンを押す。

トップメニュー画面が表示されます。

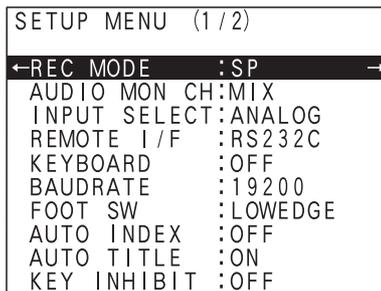


- 2 ▲、▼ ボタンを押して、SETUP MENU を白黒反転表示させる。

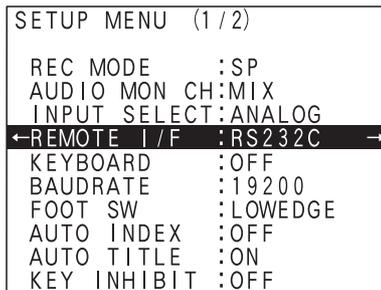


- 3 ▶ ボタンを押す。

SETUP MENU 画面が表示されます。

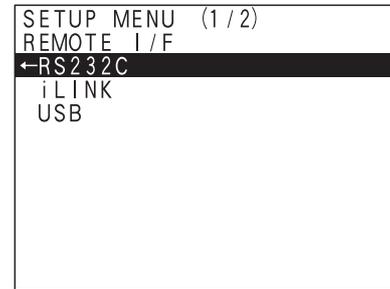


- 4 ▼ ボタンを押して、REMOTE I/F を白黒反転表示させる。



- 5 ▶ ボタンを押す。

REMOTE I/F サブメニューが表示されます。



- 6 前面パネルの ▲、▼ ボタンを使って使用するインターフェースを選択する。

選択されたインターフェースが白黒反転表示されています。

項目	インターフェース
RS232C	RS-232C 端子に接続された外部装置などからリモートコントロールする場合 <sup>a)</sup>
iLINK	i.LINK 端子を使って外部装置などからリモートコントロールする場合 <sup>b)</sup>
USB	USB 端子に接続された外部装置などからリモートコントロールする場合 <sup>c)</sup>

- a) プロトコルは、SVO-9500MD のプロトコルと互換性があります。  
 b) 入力信号の設定とは関係ありません。  
 c) プロトコルは、RS-232C と同等です。

- 7 SET ボタンを押す。

「NOW SAVING...」と表示され、保存が開始されます。保存が終わると、メッセージが消え、通常の画面に戻ります。リモートインターフェースに関する設定が確定されます。

## ディスクの取り扱い

### 使用可能なディスク

本機では4倍速対応のDVD+RWディスクを使用します。

#### ご注意

データ用、ビデオ用両方のディスクが使用できます。

### ディスクの初期化について

本機では、未使用のディスクをご使用になる場合は、自動的に初期化をいたします。

コンピューターで初期化した場合や、ほかの機器で記録したものをご使用になる場合は、DISC INFOのFORMATサブメニューで初期化してください。

#### ご注意

記録されている内容は、全て消去されますのでご注意ください。

- ◆ 初期化について詳しくは、「ディスクを初期化する」(34ページ)をご覧ください。

## 取り扱い上の注意

### 取り扱いかた

- ・ 記録、再生面に手を触れないように持ってください。



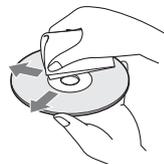
- ・ 次のようなディスクは使用しないでください。本機の故障の原因となることがあります。
  - －紙やシールの貼られたディスク
  - －セロハンテープやラベルなどの糊がはみ出したり、はがした跡のあるディスク
  - －ひびの入っているディスク
  - －割れたり、欠けたりしたディスクを接着剤で修復したディスク

### 保管のしかた

- ・ 直射日光が当たるところなど、温度の高い所、湿度の高い所には置かないでください。
- ・ ケースに入れて保管してください。
- ・ 指紋やほこりによるディスクの汚れは、映像の乱れや画質低下の原因になります。いつもきれいにしておいてください。

### お手入れのしかた

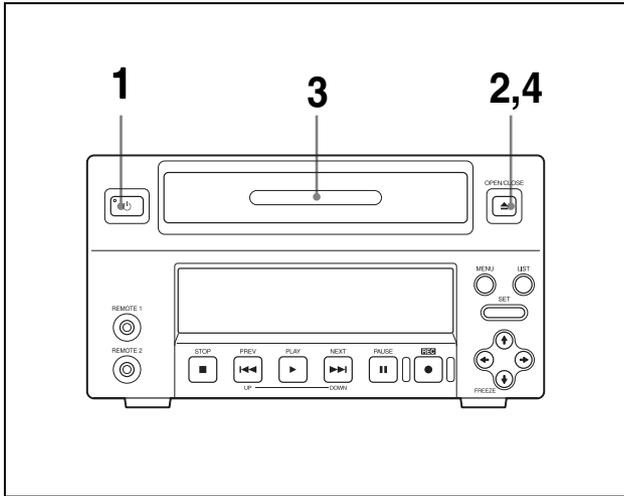
- ・ 柔らかい布でディスクの中心から外の方へ軽くふきます。汚れがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布でふいた後、さらに乾いた布で水気をふき取ってください。



- ・ ベンジンやレコードクリーナー、静電気防止剤などは、ディスクを傷めることがありますので、使わないでください。

## ディスクを出し入れする

### ディスクを入れるには



- 1** ① (電源) スイッチを押して電源を入れる。

フロントパネルディスプレイに「Welcome」と表示されます。

メッセージが、「Now loading...」から「NO DISC!」へと変わってから、次の操作に進みます。

#### ご注意

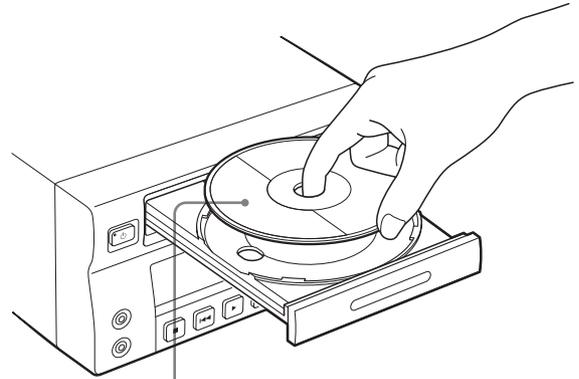
① (電源) スイッチを押しても、電源が入らず、フロントパネルディスプレイが点灯しない場合は、後面の MAIN POWER スイッチが **I** (オン) になっているか確認をしてください。

◆電源の入/切について詳しくは、「電源を入れる・切る」(17 ページ) をご覧ください。

- 2** OPEN/CLOSE ボタンを押す。

ディスクトレイが開きます。  
フロントパネルディスプレイは「OPEN」という表示に切り換わります。

- 3** ディスクを入れる。



記録/再生面を下に

- 4** OPEN/CLOSE ボタンを押す。またはディスクトレイを押す。

ディスクトレイが閉まります。  
フロントパネルディスプレイには DISC IN 表示が点滅し、また「Now loading...」と表示されます。



DISC IN 表示

「Now loading...」が消え、DISC IN 表示が点灯してから、次の操作に進みます。

#### 本機で使用できないディスクを入れたとき

フロントパネルディスプレイに「Not Supported!」というメッセージが表示されます。ディスクを取り出して、本機で使用できるディスクに入れ換えてください。

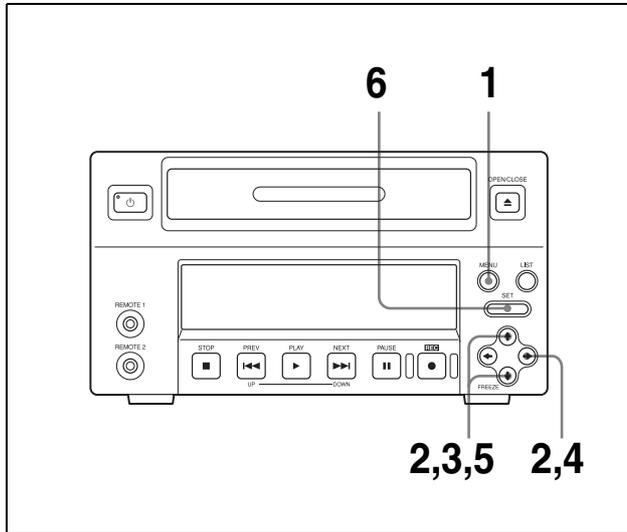
### ディスクを取り出すには

- 1** 電源が入った状態で OPEN/CLOSE ボタンを押す。  
ディスクトレイが開きます。
- 2** ディスクを取り出す。
- 3** 次のディスクを入れない場合は、OPEN/CLOSE ボタンを押して、ディスクトレイを閉める。

# 記録前の準備

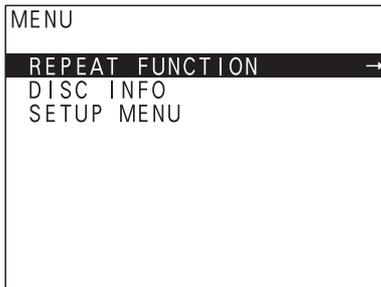
## 入力信号を選択する

記録する入力信号を選択するには、SETUP MENU の INPUT SELECT サブメニューで設定します。

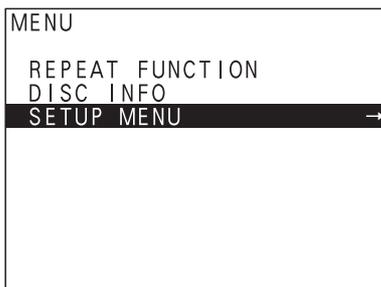


**1** MENU ボタンを押す。

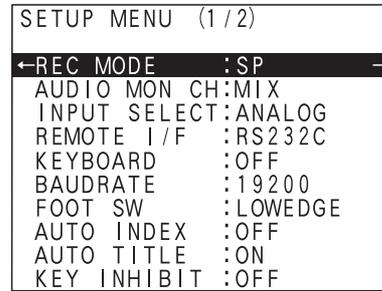
トップメニュー画面が表示されます。



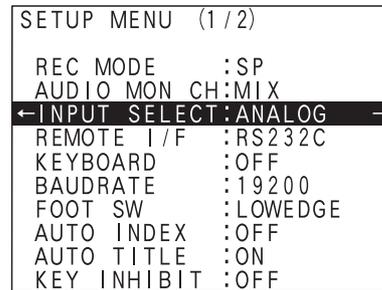
**2** ↑、↓ ボタンを押して、SETUP MENU を白黒反転表示させ、➡ ボタンを押す。



SETUP MENU 画面が表示されます。

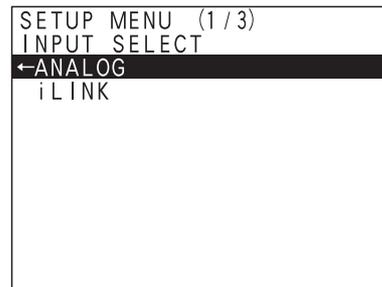


**3** ↑、↓ ボタンを押して INPUT SELECT を白黒反転表示させる。



**4** ➡ ボタンを押す。

INPUT SELECT サブメニューが表示されます。



**5** ↑、↓ ボタンを押して、希望の入力信号を白黒反転表示させる。

入力信号	内容
ANALOG	VIDEO IN、または S-VIDEO IN 端子から入力するアナログ信号を記録する。(初期設定)
i.LINK	DV IN (i.LINK) 端子から入力する DV 規格デジタル信号を記録する。

### アナログ入力を選択した場合

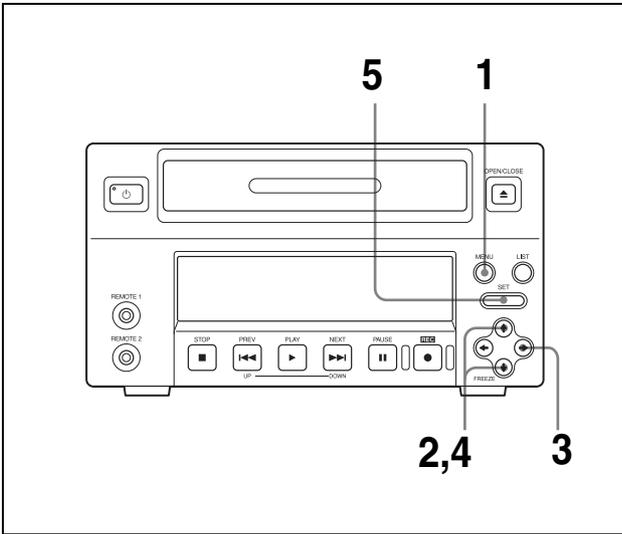
本機の S-VIDEO IN 端子に S 映像ケーブルが接続されている場合、信号の有無にかかわらず S 入力 VIDEO 入力より優先的に選択され、フロントパネルディスプレイに「S-VIDEO」と表示されます。

**6** SET ボタンを押す。

「NOW SAVING...」と表示され、保存が開始されます。  
 保存が終わると、メッセージが消え、通常の画面に戻ります。  
 入力信号が確定されます。

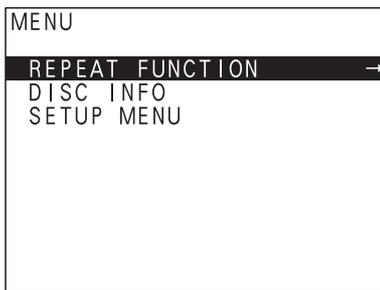
## 録画モードを選択する

録画モードは3モードあります。  
 録画モードの選択は、SETUP MENU の REC MODE サブメニューで設定します。

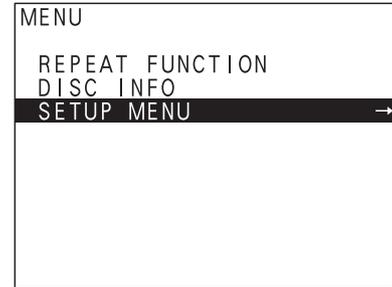


**1** MENU ボタンを押す。

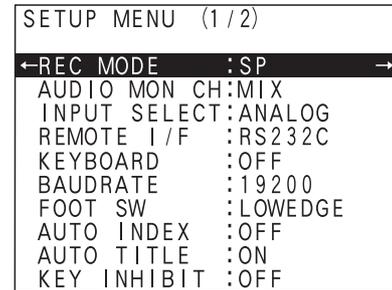
トップメニュー画面が表示されます。



**2** ↑、↓ ボタンを押して、SETUP MENU を白黒反転表示させ、➡ ボタンを押す。

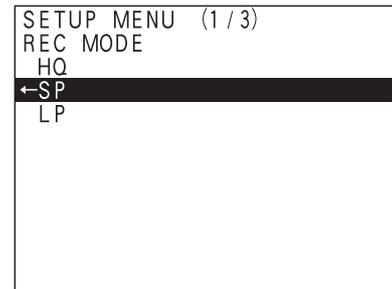


SETUP MENU 画面が表示されます。



**3** REC MODE が白黒反転表示されていることを確認し、➡ ボタンを押す。

REC MODE サブメニューが表示されます。



**4** 前面パネルの↑、↓ ボタンを押して、希望の録画モードを白黒反転表示させる。

録画モード	内容	最大記録時間
HQ	高画質で記録する。	約1時間
SP	標準モードで記録する。(初期設定)	約2時間
LP	長時間記録する。	約3時間

**5** SET ボタンを押す。

「NOW SAVING...」と表示され、保存が開始されます。

保存が終わると、メッセージが消え、通常の画面に戻ります。

録画モードが確定されます。

## 記録する

本機では、1枚のディスクに最大49タイトルまで記録できます。

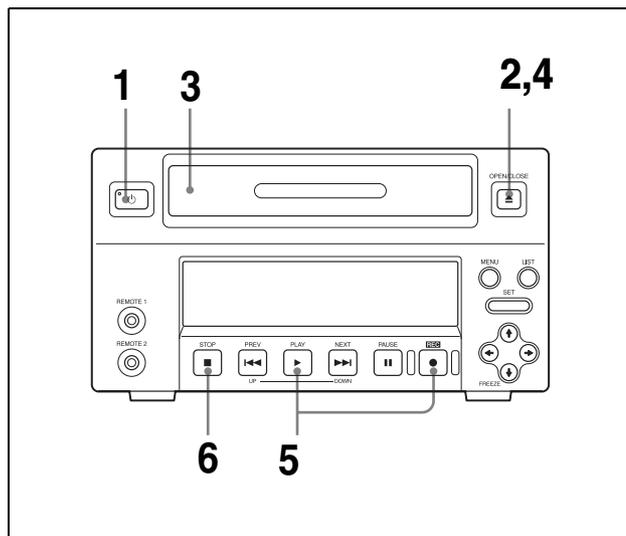
また、記録中に、任意の場所でインデックスをつけることができます。

追加で記録する場合、空きスペースの頭から記録が始まります。

### ご注意

- ・残量がないディスクや49タイトルまで記録したディスクなどを挿入すると、記録できません。ご使用になる前に確認してください
- ・記録中にディスク残量が5分に達すると、フロントパネルディスプレイ上のメイン表示部（TITLE / CHAP / 時間表示部）が点滅します。
- ・大切な記録の場合は、必ず事前にためしに記録してみて、正常に記録されていることを確認してください。

## タイトルの記録を開始する



### 1 ㊦（電源）スイッチを押して電源を入れる。

フロントパネルディスプレイに「Welcome」と表示されます。

メッセージが、「Now loading...」から「NO DISC!」へと変わってから、次の操作に進みます。

### ご注意

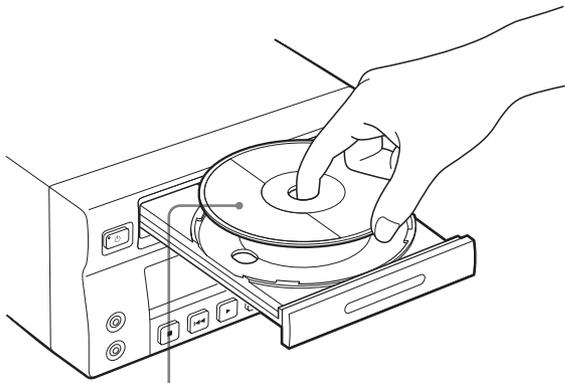
㊦（電源）スイッチを押しても、電源が入らず、フロントパネルディスプレイが点灯しない場合は、後面のMAIN POWERスイッチがI（オン）になっているか確認をしてください。

◆電源の入り/切りについて詳しくは、「電源を入れる・切る」(17 ページ)をご覧ください。

## 2 OPEN/CLOSE ボタンを押す。

ディスクトレイが開きます。  
フロントパネルディスプレイは「OPEN」という表示に切り換わります。

## 3 ディスクを入れる。



記録/再生面を下に

## 4 OPEN/CLOSE ボタンを押す。またはディスクトレイを押す。

ディスクトレイが閉まります。  
フロントパネルディスプレイでは、DISC IN 表示が点滅し、「Now loading...」という表示に切り換わります。  
DISC IN 表示が点灯に変わったら、手順 5 に進みます。

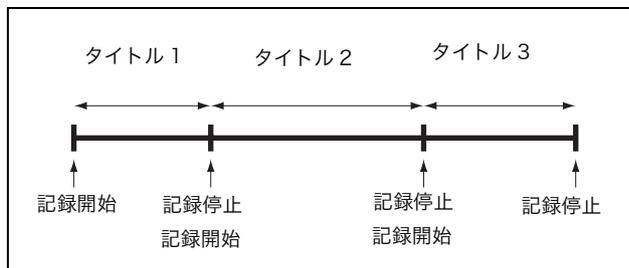
## 5 ●REC ボタンを押す。

1 タイトルの記録が開始されます。

## 6 1 タイトルの記録を終了するには、■STOP ボタンを押す。

## 7 手順 5、6 を繰り返して順々にタイトルを記録していく。

タイトル番号は、記録順にふられていきます。



### 記録途中で一時停止するには

■PAUSE ボタンを押します。

記録を再開するには、再度 ■PAUSE ボタンを押します。

#### ご注意

RS-232C で本機をコントロールしている場合、STOP コマンドは、一時停止と見なされる場合と、記録停止の場合があります。SETUP MENU の ENHANCED MENU の 232C STOP (50 ページ参照) の設定により決まります。

#### 本機前面パネルのボタンを押しても操作できない場合

SETUP MENU の KEY INHIBIT (48 ページ参照) で、ON に設定されています。これにより、前面パネルボタンの誤操作防止のため、MENU ボタン、LIST ボタン、電源スイッチ、OPEN/CLOSE ボタン以外は無効になるようキーロック機能が働いています。

これらのボタンを使用するには、OFF に設定してください。

ただし、メニュー操作時は、◀、▶、▲、▼、SET ボタンは使用できます。

## 記録中にインデックスをつける

記録中の画像のポイントとなる個所に目印となるインデックスをつけておくと、再生時に瞬時に目的のポイントを見たり、インデックス間を繰り返して再生することができます。

インデックスは 1 枚のディスクに最大 254 個、1 タイトルに最大 99 個つけることができます。

以下の 3 通りの方法で記録中にインデックスをつけることができます。

#### ■PAUSE ボタンを使う

記録途中で ■PAUSE ボタンを押して一時停止させます。再度 ■PAUSE ボタンを押して記録を再開させると、記録開始点にインデックスがつきます。

#### ご注意

- ・ ENHANCED MENU サブメニューの RECPAUSE INDEX (50 ページ参照) で OFF を設定している場合、インデックスはつきません。
- ・ ■PAUSE ボタンを押して記録を一時停止し、再度 ■PAUSE ボタンを押して記録を再開するまでの間は、ディスクにデータは記録されません。

#### リモートコントロールユニット SVRM-100A (別売り) を使う場合

MARK ボタンを押します。

- ◆ 詳しくは、「インデックスをつける」(61 ページ)をご覧ください。

### 自動でつける

SETUP MENU の AUTO INDEX (48 ページ参照) を ON に設定しておく、5 分おきに自動的にインデックスがつけます。

#### ご注意

1 枚のディスクに最大 254 個、1 タイトルに最大 99 個までインデックスを付けることができます。制限を越えると、警告メッセージが表示され、インデックスをつけることができなくなります。

- ◆ 警告メッセージについて詳しくは、「警告メッセージ」(53 ページ)をご覧ください。

### 自動的に次のタイトルを作成するには

1 タイトル内のインデックスが 99 個を超えたときは、自動的に次のタイトルを作るようにしておくことができます。

- ◆ 詳しくは、SETUP MENU の AUTO TITLE (48 ページ参照) をご覧ください。

### インデックスで区切られた区間について

インデックスで区切られた区間をチャプターと呼びます。

タイトル 1			タイトル 2		タイトル 3
チャプター 1	チャプター 2	チャプター 3	チャプター 1	チャプター 2	チャプター 1
*	*	*	*	*	*

\* インデックス

## フットスイッチを使用する場合

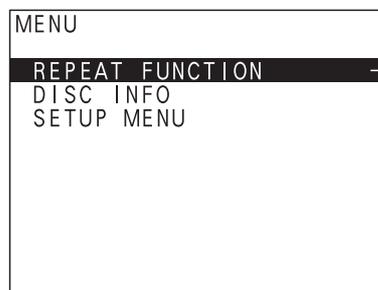
別売りのフットスイッチを使用して、記録の開始、または一時停止を行うことができます。フットスイッチによる記録の開始、停止動作は、SETUP MENU の FOOT SW サブメニューの設定により異なります。

#### ご注意

フットスイッチを使用した場合、記録を終了する場合は、本機前面の ■STOP ボタンを押します。

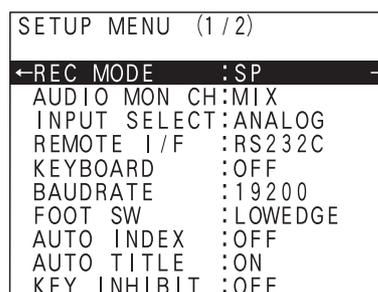
- 1 MENU ボタンを押す。

トップメニュー画面が表示されます。

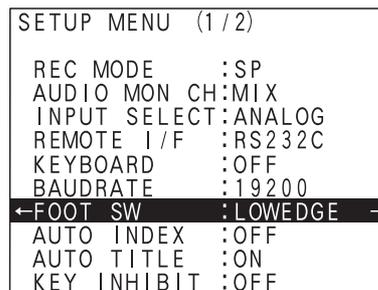


- 2 ↑、↓ ボタンを押して、SETUP MENU を白黒反転表示させる。➡ ボタンを押す。

SETUP MENU 画面が表示されます。

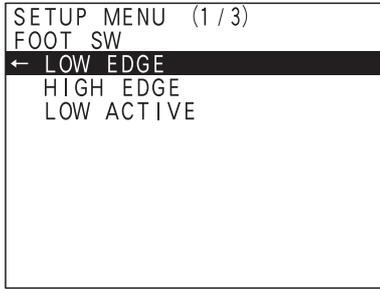


- 3 ↑、↓ ボタンを押して FOOT SW を白黒反転表示させる。



- 4 ➡ ボタンを押す。

FOOT SW サブメニューが表示されます。



- 5 ↑、↓ ボタンを押して、希望の入力モードを白黒反転表示させる。

入力モード	内容
LOW EDGE	スイッチを踏み込んだときに、記録開始、または記録中であれば、記録一時停止。スイッチから足を離しても、記録または一時停止状態が続く。(初期設定)
HIGH EDGE	スイッチを踏み込んで離れたときに、記録開始、または記録中であれば、記録一時停止。スイッチを踏み込んだだけでは、記録と一時停止が切り換わらない。
LOW ACTIVE	スイッチを踏み込んでいる間は記録状態で、離すと記録一時停止になる。

- 6 SET ボタンを押す。

「NOW SAVING...」と表示され、保存が開始されます。  
 保存が終わると、メッセージが消え、通常の画面に戻ります。  
 入力モードが確定されます。

## タイトルに情報をつける

本機を使って記録するときは、自動的にタイトル名として記録月日年時分秒 (例: 01/06/04 17:25:19) が記録されます。  
 また、RS-232C のリモコン等のキーボードを使用すると、タイトルごとに 2048 バイトのデータを記録できますので、タイトルに情報を付随記録できます。

### RS-232C のリモコン等のキーボードを使用するには

- 以下の操作、設定が必要です。
- RS-232C のリモコン等は、RS-232C 端子に接続する。
  - SETUP MENU の REMOTE I/F (48 ページ参照) を RS232C に設定する。
  - SETUP MENU の KEYBOARD (48 ページ参照) を ON に設定する。

キー入力、上書きモードで動作します。また、Back space 機能は、ESC キーで動作します。

### ご注意

- RS-232C のリモコン等を本機の REMOTE IN RS-232C 端子に接続するときは、本機前面の (電源) スイッチで電源を切ってから接続してください。
- RS-232C のリモコン等を使用しないときは必ず、SETUP MENU の KEYBOARD を OFF に設定してください。(48 ページ参照)

### 情報を付随記録・編集するには

タイトルリストメニューの TITLE INFO 画面で編集します。



情報 (2048 バイト分)

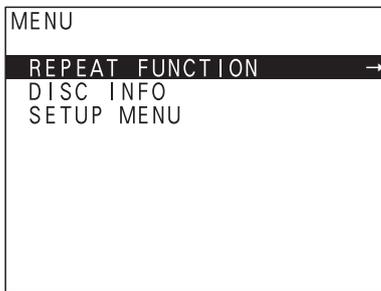
外部装置などを使用して記録する場合は、通信プロトコルでデータを記録します。

## プリレック機能

プリレック機能を設定しておくと、本機は、映像データを内部メモリーに常に 5 秒間蓄えておきます。これにより、記録を開始したとき、その約 5 秒前からの映像を記録することができます。  
 プリレック機能の設定は、SETUP MENU の PRE REC サブメニューで設定します。

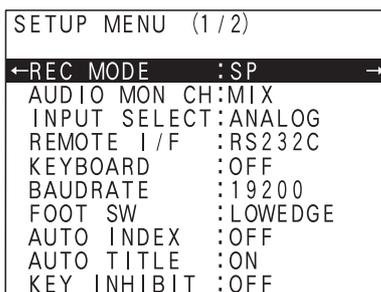
- 1 MENU ボタンを押す。

トップメニュー画面が表示されます。

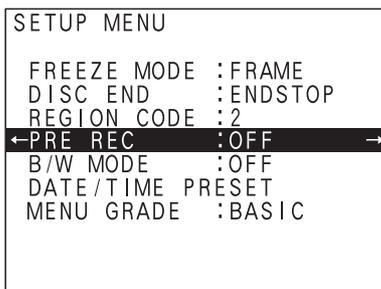


- 2 ▲、▼ ボタンを押して、SETUP MENU を白黒反転表示させる。▶ ボタンを押す。

SETUP MENU 画面が表示されます。

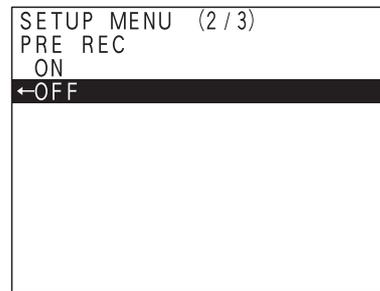


- 3 ▲、▼ ボタンを押して PRE REC を白黒反転表示させる。



- 4 ▶ ボタンを押す。

PRE REC サブメニューが表示されます。



- 5 ▲、▼ ボタンを押して、希望のモードを白黒反転表示させる。

プリレック機能	内容
OFF	記録開始直後からの映像を記録する。 (初期設定)
ON	記録開始 5 秒前からの映像を記録する。

- 6 SET ボタンを押す。

「NOW SAVING...」と表示され、保存が開始されます。  
保存が終わると、メッセージが消え、通常の画面に戻ります。

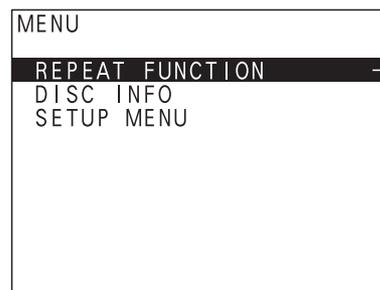
プリレック機能に関する設定が確定されます。

## 記録中ディスクがいっぱいになった場合

初期設定では、記録は自動的に停止し、ディスクトレイが開いて排出されます。  
SETUP MENU の DISC END サブメニューで動作を変更できます。

- 1 MENU ボタンを押す。

トップメニュー画面が表示されます。



- 2 ▲、▼ ボタンを押して、SETUP MENU を白黒反転表示させる。▶ ボタンを押す。

SETUP MENU 画面が表示されます。

SETUP MENU (1/2)	
←REC MODE	:SP →
AUDIO MON CH	:MIX
INPUT SELECT	:ANALOG
REMOTE I/F	:RS232C
KEYBOARD	:OFF
BAUDRATE	:19200
FOOT SW	:LOWEDGE
AUTO INDEX	:OFF
AUTO TITLE	:ON
KEY INHIBIT	:OFF

- 3 ▲、▼ ボタンを押して DISC END を白黒反転表示させる。

SETUP MENU (2/3)	
FREEZE MODE	:FRAME
←DISC END	:ENDSTOP →
REGION CODE	:2
PRE REC	:OFF
B/W MODE	:OFF
DATE/TIME PRESET	
MENU GRADE	:ENHANCED
TV SYSTEM	:NTSC
232C STOP	:REC PAUSE
232C FF/REW	:NEXT/PREV

- 4 ▶ ボタンを押す。

DISC END サブメニューが表示されます。

SETUP MENU (2/3)	
DISC END	
GOTO TOP	
←END STOP	
EJECT	

- 5 ▲、▼ ボタンを押して、希望のモードを白黒反転表示させる。

モード	内容
GOTO TOP	ディスクの先頭に戻る。
END STOP	最後のタイトルの先頭に戻り、記録は自動的に終了する。ディスクは排出されず、トレイに入ったまま。
EJECT	記録終了し、ディスクは自動的に排出される。(初期設定)

- 6 SET ボタンを押す。

「NOW SAVING...」と表示され、保存が開始されます。

保存が終わると、メッセージが消え、通常の画面に戻ります。

設定が確定されます。

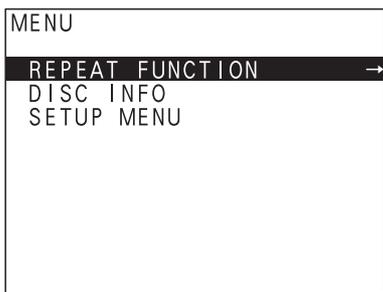
# ディスクをファイナライズする

本機で記録したディスクを他の DVD+RW 対応機器で再生する際に、ディスクのファイナライズが必要となることがあります。ファイナライズは以下の手順で行います。また、ファイナライズしたあとも記録の追加や編集を行うことができます。

1 ファイナライズするディスクをディスクトレイに入れる。

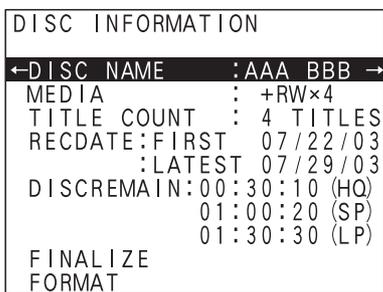
2 MENU ボタンを押す。

トップメニュー画面が表示されます。



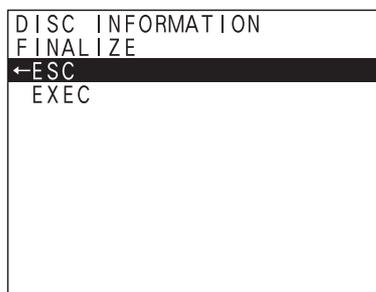
3 ↑、↓ ボタンを押して、DISC INFO を白黒反転表示させ、➡ ボタンを押す。

DISC INFORMATION サブメニューが表示されます。



4 ↑、↓ ボタンを押して、FINALIZE を白黒反転表示させ、➡ ボタンを押す。

FINALIZE 画面が表示されます。



5 ↑、↓ ボタンを押して EXEC を白黒反転表示させ、SET ボタンを押す。

「READY?」というメッセージが表示されます。

6 SET ボタンを押す。

「FINALIZING THE DISC. PLEASE WAIT」というメッセージが表示され、ファイナライズが開始されます。

終了すると、「COMPLETE!」と表示され、通常画面に戻ります。

7 ディスクを取り出す。

# ディスクを初期化する

DVD+RW ディスク内のすべてのデータを消去し、本機で記録できるように初期化することができます。

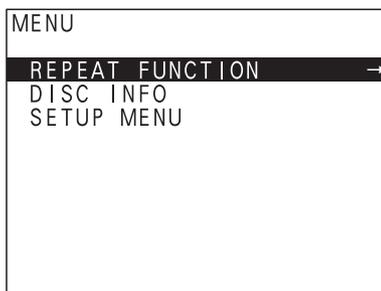
## ご注意

初期化すると、タイトル名などすべての情報が消去され、初期化前の状態に戻せません。

**1** ディスクトレイに初期化するディスクを入れる。

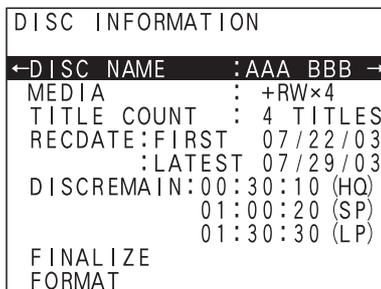
**2** MENU ボタンを押す。

トップメニュー画面が表示されます。



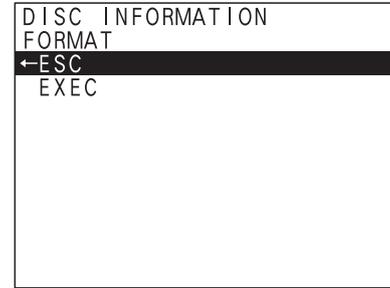
**3** ↑、↓ ボタンを押して、DISC INFO を白黒反転表示させ、→ ボタンを押す。

DISC INFORMATION サブメニューが表示されます。



**4** ↑、↓ ボタンを押して、FORMAT を白黒反転表示させ、→ ボタンを押す。

FORMAT 画面が表示されます。



**5** ↑、↓ ボタンを押して EXEC を白黒反転表示させ、SET ボタンを押す。

「READY?」というメッセージが表示されます。

## 初期化を止めるには

ESC を白黒反転表示させ、SET ボタンを押す。または MENU ボタンを押す。

**6** SET ボタンを押す。

「FORMATTING THE DISC. PLEASE WAIT.」というメッセージが表示され、初期化が開始されます。終了すると、「COMPLETE!」と表示され、通常画面に戻ります。

**7** ディスクを取り出す。

## 再生する

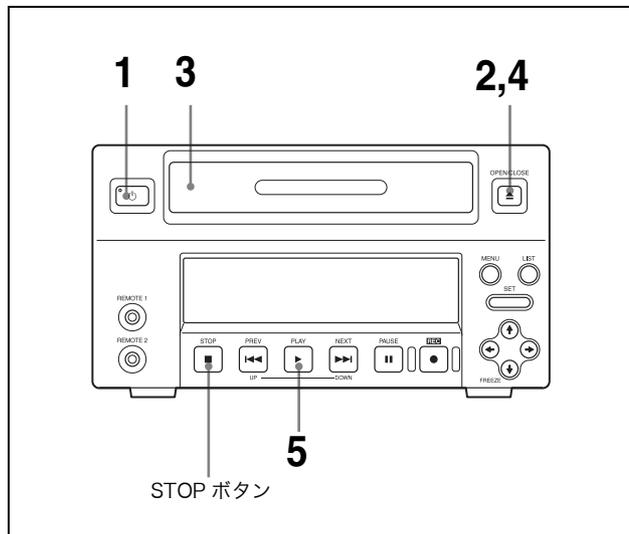
## 再生可能なディスクについて

本機では、4倍速対応のDVD+RWディスクが再生できます。

## ご注意

記録済みのディスクは、傷や汚れ、また記録状態や記録機器などにより再生できないことがあります。

## 再生する



- 1 電源スイッチを押して電源を入れる。

フロントパネルディスプレイに「Welcome」と表示されます。

メッセージが、「Now loading...」から「NO DISC!」へと変わってから、次の操作に進みます。

## ご注意

電源スイッチを押しても、電源が入らず、フロントパネルディスプレイが点灯しない場合は、後面のMAIN POWERスイッチがI(オン)になっているか確認をしてください。

◆電源の入/切について詳しくは、「電源を入れる・切る」(17ページ)をご覧ください。

- 2 OPEN/CLOSE ボタンを押す。

ディスクトレイが開きます。  
フロントパネルディスプレイは「OPEN」という表示に切り換わります。

- 3 再生するディスクを入れる。

- 4 OPEN/CLOSE ボタンを押す。

ディスクトレイが閉まります。  
フロントパネルディスプレイでは、DISC IN 表示が点滅、「Now loading...」という表示に切り換わります。

「Now loading...」が消え、DISC IN 表示が点灯してから、手順5に進みます。

- 5 ▶PLAY ボタンを押す。

再生が開始します。

## ご注意

タイトルとタイトルの間で一瞬静止画になり、音声途切れます。

## 再生を止めるには

■STOP ボタンを押します。

## 順方向・逆方向の早送り再生をする

## 順方向に早送り再生するには

▶PLAY ボタンと▶▶NEXT/DOWN ボタンを同時に押します。3倍速で順方向に早送り再生されます。

## 逆方向に早送り再生するには

▶▶PREV/UP ボタンを同時に押します。3倍速で逆方向に早送り再生されます。

## 再生中にインデックスを追加する

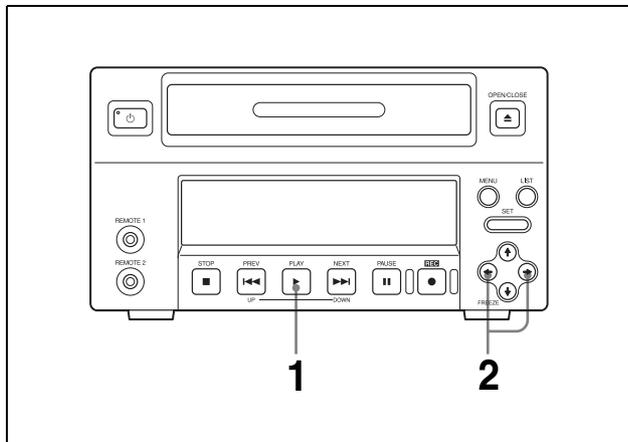
別売りのリモートコントロールユニット SVRM-100A を使って、インデックスを追加できます。

◆詳しくは、「別売りのリモートコントロールユニット SVRM-100A について」(61ページ)をご覧ください。

# 見たいところを探す

## タイトルの頭出しをする

◀、▶ ボタンを使用して、現在再生中のタイトルの前後のタイトルの頭出し（ジャンプ）をすることができます。



**1** ▶PLAY ボタンを押す。

再生が開始されます。

**2** ◀、▶ ボタンを使用して頭だし（ジャンプ）する。

### ◀ ボタンを使用する場合

1 回押すと現在再生中のタイトルの先頭にジャンプします。

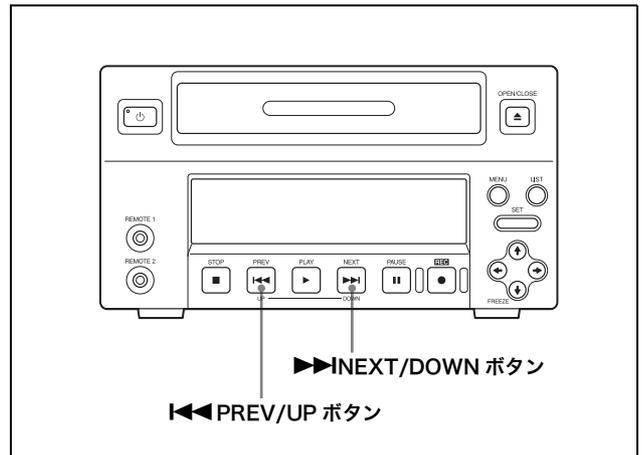
2 回押すと現在再生中のタイトルの前のタイトルの先頭にジャンプします。

### ▶ ボタンを使用する場合

1 回押すと現在再生中のタイトルの次のタイトルの先頭にジャンプします。

## チャプターの頭出しをする

▶▶NEXT/DOWN ボタン、または◀◀PREV/UP ボタンを使用して、現在再生中のチャプターの前後のチャプターの頭出し（ジャンプ）をすることができます。



### ▶▶NEXT/DOWN ボタンを使用して頭出しする

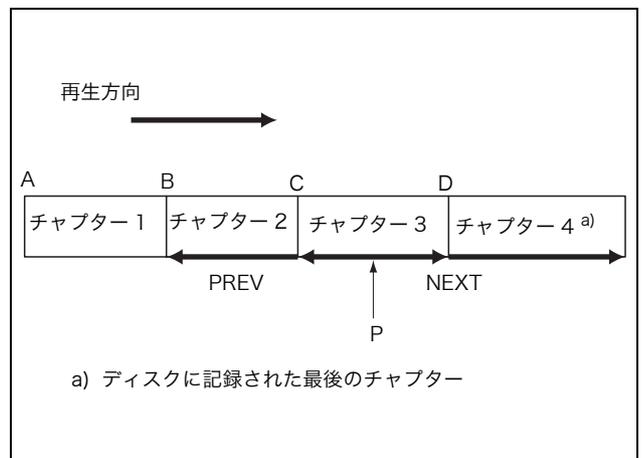
1 回押すと、現在再生中のチャプターの次のチャプターの先頭にジャンプします。

### ◀◀PREV/UP ボタンを使用して頭出しする

1 回押すと現在再生中のチャプターの前頭の先頭にジャンプします。

2 回押すと現在再生中のチャプターの前前のチャプターの前頭にジャンプします。

## 例



現在位置（P 点）で◀◀PREV/UP ボタンまたは▶▶NEXT/DOWN ボタンを押すと、本機は、次のように動作します。

◀◀PREV/UP ボタンを 1 回押す。: C 点にジャンプする。

◀◀PREV/UP ボタンを 2 回押す。: B 点にジャンプする。

▶▶NEXT/DOWN ボタンを 1 回押す。: D 点にジャンプする。

▶▶NEXT/DOWN ボタンを 2 回押す。:ディスクに記録された最後のチャプターなので、先頭 D 点にジャンプする。希望するジャンプ点がディスクに記録された最後のチャプターの末尾の場合は、最後のチャプターの先頭にジャンプします。

## 繰り返し再生をする

メニュー操作により、以下の繰り返し再生ができます。

- ・ 任意の 2 点間の繰り返し再生 (A-B 点リピート)
- ・ 現在再生中のチャプターの繰り返し再生
- ・ 現在再生中のタイトルの繰り返し再生

### 任意の 2 点間を繰り返し再生する (A-B 点リピート)

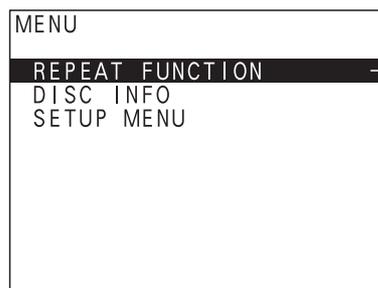
任意の 2 点間を繰り返し再生することができます。

#### A 点、B 点を設定するには

以下の手順で AB 2 点間を指定し、再生します。

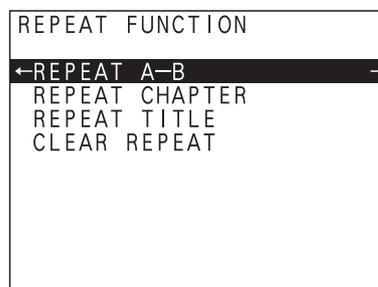
- 1 再生するディスクを入れる。
- 2 再生中に MENU ボタンを押す。

トップメニュー画面が表示されます。



- 3 ▲、▼ ボタンを押して、REPEAT FUNCTION を白黒反転表示させ、▶ ボタンを押す。

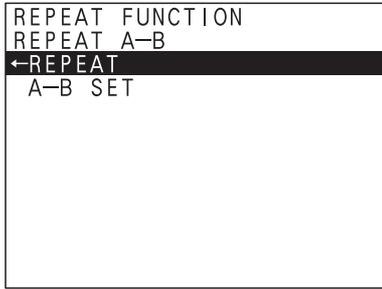
REPEAT FUNCTION 画面が表示されます。



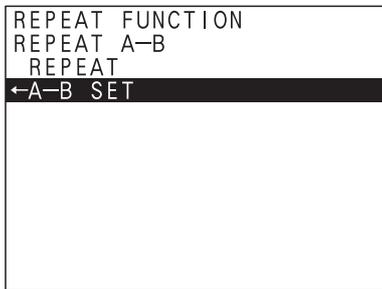
- 4 ▲、▼ ボタンを押して、REPEAT A-B を白黒反転表示させ、▶ ボタンを押す。

再生

REPEAT A-B 画面が表示されます。



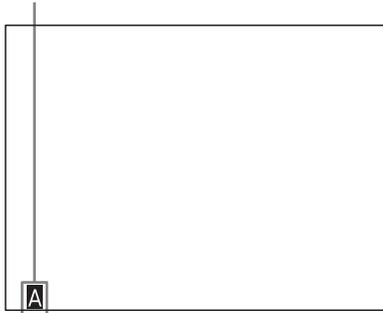
- 5 ↓ ボタンを押して、A-B SET を白黒反転表示させる。



- 6 SET ボタンを押す。

再生が開始され、画面左下に「A」が白文字で表示されます。

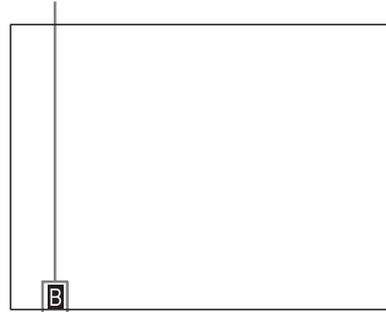
「A」が白文字で表示される。



- 7 A 点に指定したい画像がきたら SET ボタンを押す。

A 点が決定され「A」が消灯し、「B」が白文字で表示されます。

「A」が消灯し、「B」が白文字で表示される。



### A 点のみ設定して、← ボタンを押して前の画面に戻った場合

A 点のみ設定して、← ボタンを押して前の画面に戻った場合、A 点はキャンセルされ、前回設定した A 点、B 点が保持されます。再度、➡ ボタンを押すと B 点設定から始まります。

- 8 B 点に指定したい画像がきたら SET ボタンを押す。

B 点が決定され「B」が消灯し、A-B 点の繰り返し再生が始まります。

一度設定した A 点、B 点は、新たに A 点、B 点が設定されるまで、またはディスクが排出されるまで記憶されています。

### ご注意

タイトルを消去 (45 ページ参照)、またはディスクを初期化 (34 ページ参照) すると、A 点、B 点の設定はクリアされます。

### A-B 点の繰り返し再生を止めるには

2 通りの方法があります。

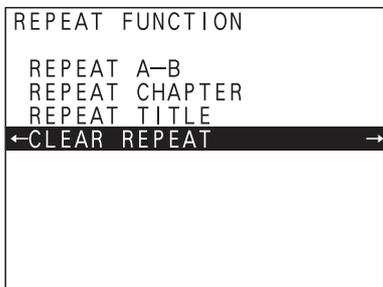
- ←、➡ ボタン、または ►►NEXT/DOWN ボタン、または ◀◀PREV/UP を使って止める。
- メニュー操作で止める。

### ←、➡ ボタン、または ►►NEXT/DOWN ボタン、または ◀◀PREV/UP を使って止めるには

←、➡ ボタン、または ►►NEXT/DOWN ボタン、または ◀◀PREV/UP を押して、A 点、B 点の範囲外のタイトル、またはチャプターへジャンプします。

## メニュー操作で止めるには

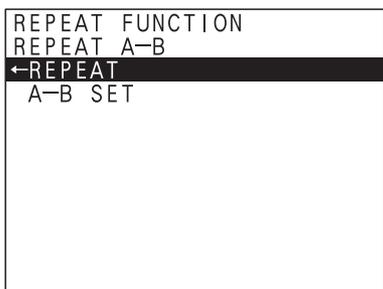
- 1 「任意の2点間を繰り返し再生する (A-B 点リピート)」 (37 ページ) の手順 2、3 の操作で REPEAT FUNCTION 画面を表示させる。
- 2 ↓ ボタンを押して、CLEAR REPEAT を白黒反転表示させ、SET ボタンを押す。



A-B 点リピートモードを抜け停止状態になります。

## 既存の A-B 点を繰り返し再生するには

- 1 「任意の2点間を繰り返し再生する (A-B 点リピート)」 (37 ページ) の手順 1～3 の操作で REPEAT A-B 画面を表示させる。
- 2 REPEAT を白黒反転表示させ、SET ボタンを押す。



A-B 点の繰り返し再生が始まります。

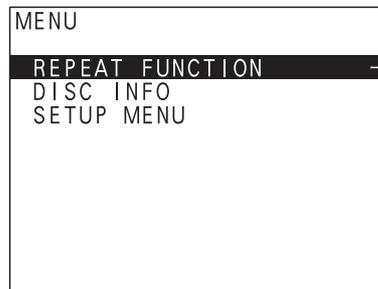
**A 点、B 点のいずれかが設定されていない場合**  
フロントパネルディスプレイには「NO AB POINT!」、モニター画面には「NO A.B POINT. SET THE A&B POINT」というエラーメッセージが表示されます。

## CHAPTER を繰り返し再生する

任意の CHAPTER を繰り返し再生することができます。  
以下の手順で CHAPTER を指定し、再生します。

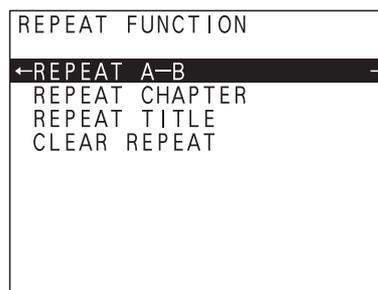
- 1 MENU ボタンを押す。

トップメニュー画面が表示されます。

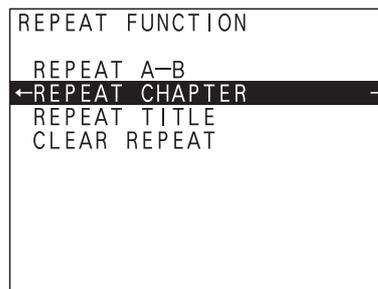


- 2 ↑、↓ ボタンを押して、REPEAT FUNCTION を白黒反転表示させ、➡ ボタンを押す。

REPEAT FUNCTION 画面が表示されます。



- 3 ↑、↓ ボタンを押して、REPEAT CHAPTER を白黒反転表示させる。



- 4 繰り返し再生をしたい CHAPTER の個所で SET ボタンを押す。

現在の CHAPTER の繰り返し再生が始まります。

## CHAPTER の繰り返し再生を止めるには

「A-B 点の繰り返し再生を止めるには」 (38 ページ) と同様の操作です。

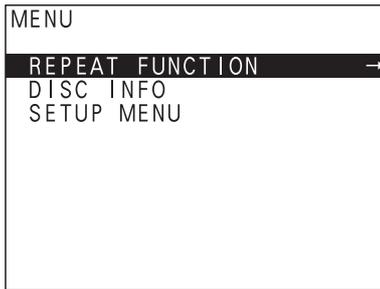
## TITLE を繰り返し再生する

任意の TITLE を繰り返し再生することができます。

以下の手順でタイトルを指定し、再生します。

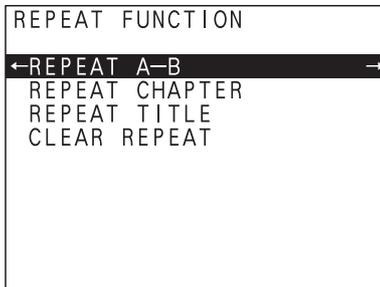
## 1 MENU ボタンを押す。

トップメニュー画面が表示されます。

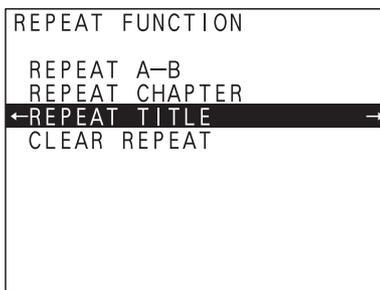


## 2 ▲、▼ ボタンを押して、REPEAT FUNCTION を白黒反転表示させ、▶ ボタンを押す。

REPEAT FUNCTION 画面が表示されます。



## 3 ▲、▼ ボタンを押して、REPEAT TITLE を白黒反転表示させる。



## 4 繰り返し再生をしたいタイトルの個所で SET ボタンを押す。

現在のタイトルの繰り返し再生が始まります。

### タイトルの繰り返し再生を止めるには

「CHAPTERを繰り返し再生する」(39 ページ)と同様の操作です。

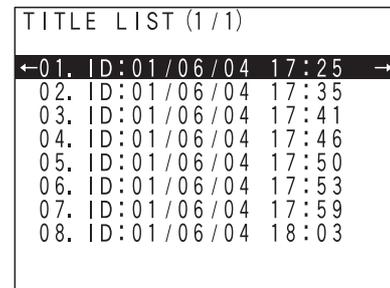
# タイトルリストから選んで再生する

再生したいチャプターをタイトルリストから検索して再生することができます。

## 1 再生するディスクを入れる。

## 2 LIST ボタンを押す。

TITLE LIST 画面が表示されます。



### タイトルの先頭チャプターから再生するには

再生したいタイトルを白黒反転表示させ、SET ボタンを押します。

## 3 ▲、▼ ボタンを押して、再生したいチャプターのあるタイトルを白黒反転表示させ、▶ ボタンを押す。

選ばれたタイトルの下記の画面が表示されます。



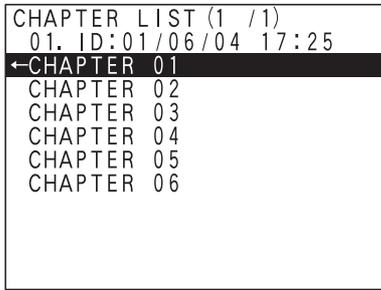
### タイトルリストが複数ページある場合

次のページに移動するには、2通りの方法があります。

◆移動のしかたについて詳しくは、「次のページを表示させるには」(41 ページ)をご覧ください。

## 4 PLAY を白黒反転表示させ、▶ ボタンを押す。

下記の画面が表示されます。



- 5 ▲、▼ ボタンを押して、再生させたいチャプターを白黒反転表示させ、SET ボタンを押す。

再生が開始されます

### 次のページを表示させるには

手順3で表示されるタイトルリスト、および手順4で表示されるチャプターリストが複数ページある場合、次のページへ移動したり、また前のページの戻るには、次の2通りの方法があります。

#### ▲、▼ ボタンを使用する

- 1 画面最後のタイトル、またはチャプターを白黒反転表示するまで、▼ ボタンを押す。

▲、▼ ボタンを押すごとに、白黒反転するタイトル、またはチャプターが1つずつ上、または下に移動します。

- 2 再度 ▼ ボタンを押す。

次のタイトルページが表示されます。

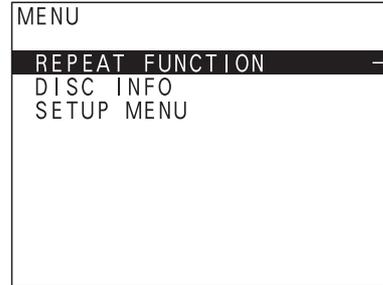
◀◀PREV/UP、▶▶INEXT/DOWN ボタンを使用する  
前のページに戻るには：◀◀PREV/UP ボタンを押します。  
次のページに進むには：▶▶INEXT/DOWN ボタンを押します。

## ディスクの情報を見る

以下の手順で DISC INFORMATION 画面を表示させます。

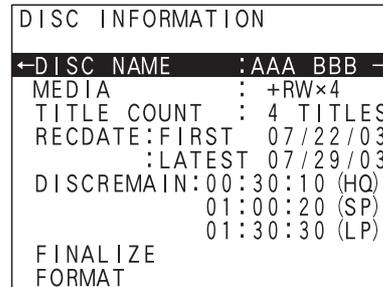
- 1 ディスクを入れ、MENU ボタンを押す。

トップメニュー画面が表示されます。



- 2 ▲、▼ ボタンを押して、DISC INFO を白黒反転表示させ、▶ ボタンを押す。

DISC INFORMATION 画面が表示されます。



以下のディスク情報が確認できます。

項目	内容
DISC NAME	ディスク名を表示する。
MEDIA	メディアの種類を表示する。(表示のみ)
TITLE COUNT	ディスクに記録されているタイトルの数を表示する。(表示のみ)
REC DATE	FIRST: ディスク内に記録されているタイトルの中で最も古い記録年月日。 LATEST: ディスク内に記録されているタイトルの中で最も新しい記録年月日 (ともに表示のみ)
DISC REMAIN	各記録モード別で記録できる残量を時間で表示する。(表示のみ)
FINALIZE	ディスクをファイナライズする。
FORMAT	ディスクを初期化する。

## DISC NAME をフル表示させるには

▲、▼ ボタンを押して、DISC NAME を白黒反転表示させ、▶ ボタンを押す。

DISC INFORMATION	
←DISC NAME	:AAA BBB →
MEDIA	: +RW×4
TITLE COUNT	: 4 TITLES
RECDATE:FIRST	07/22/03
:LATEST	07/29/03
DISCREMAIN:00	:30:10 (HQ)
	01:00:20 (SP)
	01:30:30 (LP)
FINALIZE	
FORMAT	

▼ ▶ ボタンを押す。

DISC NAME	
AAA BBB CCC DDD EEE■	

上記の画面でディスク名を変更できます。しかし、変更は本機ではできません。

別途RS-232Cのリモコン等のキーボードを使って変更します。

◆RS-232Cのリモコン等について詳しくは、「RS-232Cのリモコン等のキーボードを使用するには」(30ページ)をご覧ください。

## 元のDISC INFORMATION画面に戻るには

MENU ボタンを押します。

# 静止画像を見る

## 本機のボタンを使って静止画を見るには

再生中に再生画像を一時的に停止して、その時点の静止画を見るには次の2通りの方法があります。

### ・再生中に■PAUSE ボタンを押す。

再生が停止し、静止画になります。このときの静止画は、フィールド画となります。

### 静止画を解除して再び再生を続けるには

■PAUSE ボタンをもう一度押すか、または▶PLAY ボタンを押します。

### ・再生中に▼(FREEZE) ボタンを押す。

フレーム静止画とフィールド静止画を切り換えて見ることができます。▼ボタンを再生中に1回押すとフレームの静止画、もう1回押すと第1フィールドの静止画、次に押すと第2フィールドの静止画と、ボタンを押すたびにこの3つの静止画が順番に繰り返し画面に表示されます。

最初に▼ボタンを押したときに、フレームの静止画にするか、フィールドの静止画にするかは、SETUP MENUのFREEZE MODE(49ページ参照)を使用して選択できます。

### 静止画を解除して再び再生を続けるには

▶PLAY ボタンを押します。

## SVRM-100Aを接続して本機をリモートコントロールしている場合

### 再生画像を静止画にするには

再生中にFREEZE ボタンを押します。FREEZE ボタンを1回押すとフレームの静止画、もう一度押すと第1フィールドの静止画、次に押すと第2フィールドの静止画と、ボタンを押すたびにこの3つの静止画が順番に繰り返し画面に表示されます。最初にFREEZE ボタンを押したときに、フレームの静止画にするか、フィールドの静止画にするかは、SETUP MENUのFREEZE MODE(49ページ参照)を使用して選択できます。

### 静止画を解除して再び再生を続けるには

▶PLAY ボタンを押します。

◆詳しくは、「別売りのリモートコントロールユニットSVRM-100Aについて」(61ページ)をご覧ください。

## タイトルを編集する

本機では、TITLE LIST メニューを使用して、タイトルについて以下の編集を行うことができます。

### ・情報の確認および編集

タイトルの情報を確認して、編集が必要な場合は、編集を行うことができます。

- ◆ 詳しくは、「タイトルの情報を見る／編集する」(43 ページ)をご覧ください。

### ・保護

間違ってタイトルを消去したり、編集したりできないように、タイトル毎に保護機能を付けておくことができます。

- ◆ 詳しくは、「タイトルを保護する」(44 ページ)をご覧ください。

### ・消去

不要になったタイトルを消去できます。

- ◆ 詳しくは、「タイトルを消去する」(45 ページ)をご覧ください。

## タイトルの情報を見る／編集する

TITLE LIST メニューを使用して、タイトルの情報を見ることができます。また、TITLE NAME 画面でタイトルの名前、TITLE INFO 画面で、タイトルの情報を編集できます。

### ご注意

タイトルの情報を編集する場合は、別途 RS-232C のリモコン等が必要です。

### 1 編集するディスクを入れる。

### 2 LIST ボタンを押す。

TITLE LIST 画面が表示されます。  
タイトルのリストが表示されています。

TITLE LIST (1/1)			
←	01.	ID:01/06/04	17:25 →
	02.	ID:01/06/04	17:35
	03.	ID:01/06/04	17:41
	04.	ID:01/06/04	17:46
	05.	ID:01/06/04	17:50
	06.	ID:01/06/04	17:53
	07.	ID:01/06/04	17:59
	08.	ID:01/06/04	18:03

### 3 ▲、▼ ボタンを押して、タイトルリストの中から情報を見たいタイトルを白黒反転表示させ、▶ ボタンを押す。

以下の画面が表示されます。

SUB TITLE LIST	
01.	ID:01/06/04 17:25
←	PLAY →
PROTECT	:OFF
TITLE NAME	
TITLE INFO	
ERASE	

### タイトルリストが複数ページある場合

次の2通りの方法があります。

#### ・▲、▼ ボタンを使用する。

画面最後のタイトルを白黒反転表示するまで、▲、▼ ボタンを押す。▲、▼ ボタンを押すごとに、白黒反転するタイトルが1 つずつ上、または下に移動します。

再度 ▼ ボタンを押す。次のタイトルページが表示されます。

#### ・◀◀PREV/UP、▶▶NEXT/DOWN ボタンを使用する。

前のページに戻るには：◀◀PREV/UP ボタンを押します。

次のページに進むには：▶▶NEXT/DOWN ボタンを押します。

### 4 ▲、▼ ボタンを押して、タイトル名を確認したり、編集する場合は、TITLE NAME を、タイトルの情報を確認したり、編集する場合は、TITLE INFO を白黒反転表示させる。

### タイトル名を確認したり、編集する場合

SUB TITLE LIST	
01.	ID:01/06/04 17:25
PLAY	
PROTECT	:OFF
←	TITLE NAME →
TITLE INFO	
ERASE	

## タイトル情報を確認したり、編集する場合

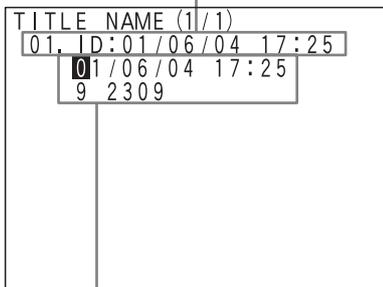


### 5 → ボタンを押す。

手順3で選んだタイトルのタイトル名、または情報が表示されます。

#### TITLE NAME を選んだ場合

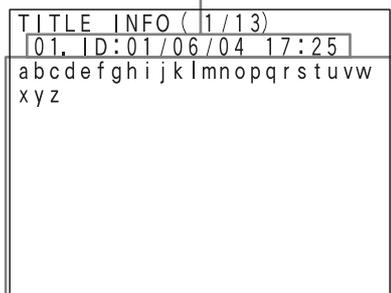
画面に表示されるタイトル名



ディスクに自動的に記録されるタイトル名

#### TITLE INFO を選んだ場合

タイトル名



情報

#### タイトル名、情報の編集について

本機を使用して編集はできませんが、RS-232Cのリモコン等を接続すると編集できます。

◆詳しくは、「RS-232Cのリモコン等のキーボードを使用するには」(30ページ)をご覧ください。

#### 編集した場合:

RS-232Cのリモコン等を使用して編集した後、本機のSETボタンを押します。フロントパネルディスプレイには、「SAVING...」というメッセージが表示され、モニター画面には、「THIS TITLE IS CHANGING INFORMATAION. PLEASE WAIT.」と表示され、編集結果が保存されます。

#### 別のタイトルの情報を見るには

LISTボタンを押します。

手順3の画面に戻ります。

さらに、◀ボタンを押して手順2の画面に戻ってから、手順2、3を繰り返して希望のタイトルの情報を見ます。

## タイトルを保護する

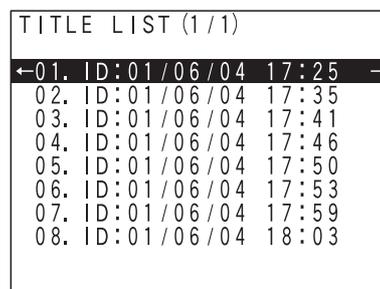
間違って消去したり、タイトルの中のインデックスの追加、消去などの編集作業を禁止するよう、TITLE LISTメニューを使用して設定しておくことができます。

以下の手順で操作します。

- 1 保護したいタイトルが記録されているディスクを入れる。
- 2 LISTボタンを押す。

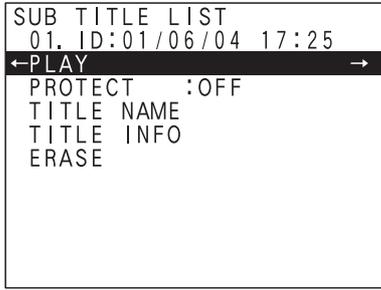
TITLE LIST画面が表示されます。

タイトルのリストが表示されています。



- 3 ▲、▼ボタンを押して、タイトルリストの中から保護したいタイトルを白黒反転表示させ、▶ボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



#### タイトルリストが複数ページある場合

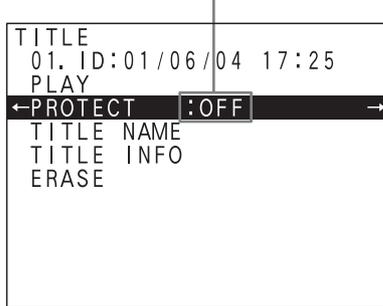
次のページに移動するには、2通りの方法があります。

- ・ ↑、↓ ボタンを使用する。
- ・ ◀PREV/UP、▶NEXT/DOWN ボタンを使用する。

◆移動のしかたについて詳しくは、「タイトルリストが複数ページある場合」(43 ページ)をご覧ください。

- 4 ↑、↓ ボタンを押して、PROTECT を白黒反転表示させる。

現在の保護の状態

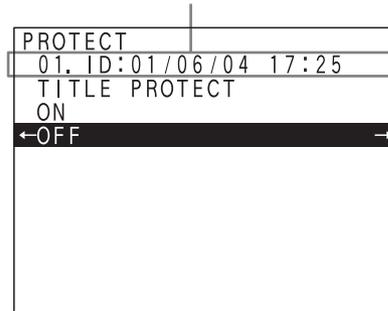


- 5 → ボタンを押す。

設定画面が表示されます。

- 6 ↑、↓ ボタンを押して、希望の設定を白黒反転表示させる。

選ばれたタイトル名が表示されている。



選択肢	内容
ON	タイトルを保護する。
OFF	タイトルを保護しない。(初期設定)

- 7 SET ボタンを押す。

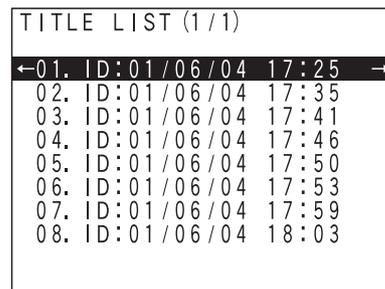
## タイトルを消去する

以下の手順で操作します。

- 1 消去したいタイトルが記録されているディスクを入れる。
- 2 LIST ボタンを押す。

TITLE LIST 画面が表示されます。

タイトルのリストが表示されています。



- 3 ↑、↓ ボタンを押して、タイトルリストの中から消去したいタイトルを白黒反転表示させ、→ ボタンを押す。

以下の画面が表示されます。

```
SUB TITLE LIST
01. ID:01/06/04 17:25
←PLAY →
PROTECT :OFF
TITLE NAME
TITLE INFO
ERASE
```

#### タイトルリストが複数ページある場合

次のページに移動するには、2通りの方法があります。

- ・ ↑、↓ ボタンを使用する。
- ・ ◀PREV/UP、▶NEXT/DOWN ボタンを使用する。

◆移動のしかたについて詳しくは、「タイトルリストが複数ページある場合」(43 ページ)をご覧ください。

- 4 ↑、↓ ボタンを押して、ERASE を白黒反転表示させる。

```
TITLE
01. ID:01/06/04 17:25
PLAY
PROTECT :OFF
TITLE NAME
TITLE INFO
←ERASE →
```

- 5 → ボタンを押す。

実行画面が表示されます。

```
ERASE
01. ID:01/06/04 17:25
←ESC →
EXEC
```

- 6 ↑、↓ ボタンを押して、EXEC を白黒反転表示させる。

```
ERASE
01. ID:01/06/04 17:25
ESC
←EXEC →
```

- 7 SET ボタンを押す。

「READY?」というメッセージが表示されます。

- 8 SET ボタンを押す。

「ERASING THIS TITLE. PLEASE WAIT.」というメッセージが表示され、消去が開始されます。

#### ご注意

本機は、最大 49 個のタイトルを記録できます。

最後のタイトルを消去した場合は、そのタイトルの分だけディスクの容量が増えます。また、タイトル番号の振り直しが行われます。例えば、現在記録されている最後のタイトル 30 を消去した場合、残りのタイトルは、1 ~ 29 になります。新たにタイトルを記録した場合は、新しいタイトル番号は 30 になります。

最後以外のタイトルを消去しても、ディスクの容量は変わりません。しかし、タイトル番号は、消去したタイトル番号を使用して振り直しが行われます。空き番号になりません。

## メニューの構成と一覧

本機には、MENU ボタンを押して表示されるメニューと LIST ボタンを押して表示されるタイトルリストメニューがあります。ここでは、MENU ボタンを押して表示されるメニューの構成および一覧について説明します。

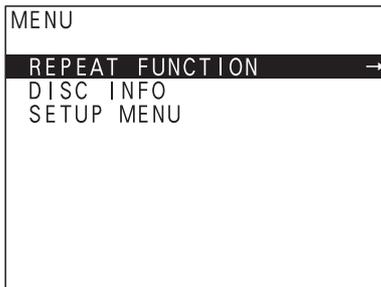
- ◆ メニューの基本操作については、「メニューの基本操作」(51 ページ)をご覧ください。  
タイトルリストメニューについては、「タイトルリストから選んで再生する」(40 ページ)、をご覧ください。

### メニュー画面について

本書では、メニュー操作の説明は、モニター画面を使用して説明しています。  
フロントパネルディスプレイのメイン表示部には、現在、メニュー画面で白黒反転されている項目が表示されます。  
↑、↓、←、→ ボタンを押すごとに、表示が切り換わっていきます。

## メニューの構成

MENU ボタンを押すとトップメニューが表示されます。



トップメニューの下には、以下のメニューがあります。

- ・ REPEAT FUNCTION メニュー
- ・ DISC INFO メニュー
- ・ SETUP MENU

- ◆ メニューについて詳しくは、次の「メニューの一覧」(47 ページ)をご覧ください。

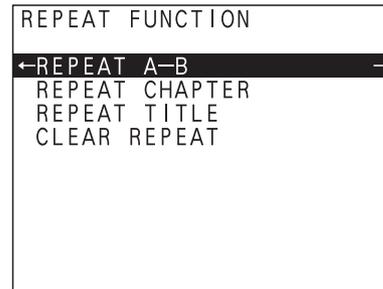
## メニューの一覧

MENU ボタンを押して表示されるメニューを一覧表で説明します。

一覧表の中で  で囲みである設定は、初期設定です。

## REPEAT FUNCTION メニュー

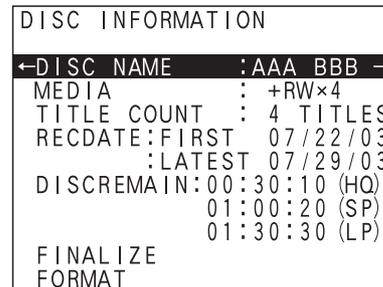
任意の2点間 (A-B 点リピート)、チャプター、タイトルを繰り返し再生する場合に使用します。



項目	内容
REPEAT A-B	あらかじめ指定した2点 (A点、B点) 間を繰り返し再生する。
REPEAT CHAPTER	現在再生中のチャプターを繰り返し再生する。
REPEAT TITLE	現在再生中のタイトルを繰り返し再生する。
CLEAR REPEAT	選択されているリピート再生を止める。

## DISC INFORMATION メニュー

ディスクについての詳細の確認、ディスクのファイナライズ、フォーマットを行うことができます。



項目	内容
DISC NAME	ディスク名を表示する。
MEDIA	メディアの種類を表示する。(表示のみ)
TITLE COUNT	ディスクに記録されているタイトルの数を表示する。(表示のみ)
REC DATE	FIRST: ディスク内に記録されているタイトルの中で最も古い記録年月日。 LATEST: ディスク内に記録されているタイトルの中で最も新しい記録年月日。(ともに表示のみ)
DISC REMAIN	各記録モード別で記録できる残量を時間で表示する。(表示のみ)
FINALIZE	ディスクをファイナライズする。
FORMAT	ディスクを初期化する。

# SETUP MENU

本機の使用状況に応じて、各種設定を行います。

SETUP MENU (1/2)	
←REC MODE	: SP →
AUDIO MON CH	: MIX
INPUT SELECT	: ANALOG
REMOTE I/F	: RS232C
KEYBOARD	: OFF
BAUDRATE	: 19200
FOOT SW	: LOWEDGE
AUTO INDEX	: OFF
AUTO TITLE	: ON
KEY INHIBIT	: OFF

設定項目	内容	設定
REC MODE	記録モードを選択する。	HQ: 高画質で記録する。 [SP]: 標準モードで記録する。 LP: 長時間記録する。
AUDIO MON CH	後面の MONITOR AUDIO 端子からの出力信号を選択する。	LCH: 音声チャンネル 1 (L チャンネル) の音声信号を出力する。 RCH: 音声チャンネル 2 (R チャンネル) の音声信号を出力する。 [MIX]: 音声チャンネル 1、2 のミックスされた音声信号を出力する。
INPUT SELECT	映像と音声の入力信号を選択する。	[ANALOG]: VIDEO IN、または S-VIDEO IN 端子にアナログ信号を入力する。 i.LINK: DV IN(i.LINK) 端子にデジタル信号を入力する。
REMOTE I/F	本機をリモートコントロールするインターフェースを選択する。	[RS232C]: RS-232C 端子に接続している機器からリモートコントロールする。(ソニー製ビデオカセットレコーダー SVO-9500MD と互換性を持つプロトコル) i.LINK: DV IN (i.LINK) 端子に接続している機器からリモートコントロールする。 USB: USB 端子に接続している機器からリモートコントロールする。(上記 RS-232C のプロトコルと互換性を持つ。)
KEYBOARD	RS-232C のリモコン等を使用するかどうかを選択する。	ON: 使用する。 [OFF]: 使用しない。

設定項目	内容	設定
BAUDRATE	RS-232C 端子に接続した機器から本機をコントロールするときの通信速度 (ボーレート) を選択する。	9600/[19200]/38400/57600/115200
FOOT SW	別売りのフットスイッチのスイッチを踏み込んだときの動作を選択する。	[LOW EDGE]: スイッチを踏み込んだときに、記録開始、または記録中であれば記録一時停止。スイッチから足を離しても、記録または一時停止状態が続く。 HIGH EDGE: スイッチを踏み込んで離れたときに、記録開始、または記録中であれば記録一時停止。スイッチを踏み込んだだけでは、記録と一時停止が切り換わらない。 LOW ACTIVE: スイッチを踏み込んでいる間は記録状態で、離すと記録一時停止になる。
AUTO INDEX	記録中に自動的にインデックスをつけるかどうかを選択する。	ON <sup>a)</sup> : 5分おきにインデックスが自動的に打たれる。 [OFF]: 自動でインデックスをつけない。
AUTO TITLE	1 タイトル内のインデックスが 99 個を超えたときに、自動的に次のタイトルにするかどうかを選択する。	[ON]: 次のタイトルに自動的に移行する。既存の VHS 対応機器との接続時にこの設定にすることを勧めいたします。 OFF: 次のタイトルに移行しない。メッセージが表示されます。
KEY INHIBIT	誤操作防止のため MENU ボタン、⏻ (電源) スイッチ、LIST ボタン、OPEN/CLOSE ボタン以外のボタンを無効にするキーロック機能を設定する。	ON: キーロック機能を設定する。 [OFF]: キーロック機能を働かせない。全てのボタンが有効となる。

設定項目	内容	設定
FREEZE MODE	再生時の一時停止した時点で最初に表示されるフリーズ画を選択する。(本体フロントパネルの▼ボタン、または別売りのリモートコントロールユニット SVRM-100A の FREEZE ボタンを押したときのみ有効)	[FRAME] : ボタンを押すと、フレーム静止画が表示され、次に押すと第1フィールド静止画、再度押すと第2フィールド静止画と順に変わる。 1ST FIELD : ボタンを押すたびに、第1フィールド静止画、第2フィールド静止画、フレーム静止画と順に変わる。 2ND FIELD : ボタンを押すたびに、第2フィールド静止画、フレーム静止画、第1フィールド静止画と順に変わる。
		GOTO TOP : ディスクの先頭に戻る。 END STOP : 最後のチャプターの先頭に戻り、記録は自動的に終了する。ディスクはトレイに入ったまま、排出されない。 [EJECT] : 記録が終了し、ディスクは自動的に排出される。
		再生時のリージョンコードを選択する。 <sup>b)</sup>
REGION CODE	再生時のリージョンコードを選択する。 <sup>b)</sup>	[1] : 北米で記録したディスクを再生する場合選択する。(PAL 無し) 2 : 日本 (NTSC) 、ヨーロッパ、アラブ (PAL) で記録したディスクを再生する場合選択する。 3 : 東南アジア <sup>c)</sup> で記録したディスクを再生する場合選択する。 4 : 南米/オーストラリア (PAL) で記録したディスクを再生する場合選択する。 5 : アフリカ (NTSC) 、ロシア/南アジア/アフリカ (PAL) で記録したディスクを再生する場合選択する。 6 : 中国 (PAL) で記録したディスクを再生する場合選択する。
		ON : 記録開始 5 秒前の映像から記録を行う。 [OFF] : 記録開始直後の映像から記録を行う。
		ON : 記録開始 5 秒前の映像から記録を行う。 [OFF] : 記録開始直後の映像から記録を行う。
		ON : 記録開始 5 秒前の映像から記録を行う。 [OFF] : 記録開始直後の映像から記録を行う。
		ON : 記録開始 5 秒前の映像から記録を行う。 [OFF] : 記録開始直後の映像から記録を行う。
		ON : 記録開始 5 秒前の映像から記録を行う。 [OFF] : 記録開始直後の映像から記録を行う。
PRE REC	記録開始 5 秒前からの映像を記録する (プリレック機能) かどうかを選択する。	ON : 記録開始 5 秒前の映像から記録を行う。 [OFF] : 記録開始直後の映像から記録を行う。

設定項目	内容	設定
B/W MODE	VIDEO IN 端子、VIDEO OUT 端子、S-VIDEO OUT 端子の信号処理を強制的に白黒モードにするかどうかを選択する。	[OFF] : VIDEO IN 端子、VIDEO OUT 端子、S-VIDEO OUT 端子の信号は、通常のカラー信号として扱われる。 ON : VIDEO IN 端子からの信号を白黒信号として広帯域で記録し、VIDEO OUT 端子、S-VIDEO OUT 端子からの出力バースト信号を強制的にオフにする。 VIDEO IN 端子、VIDEO OUT 端子に白黒信号を入出力する場合はこの設定にします。
		本機の日付と時刻を設定する。
DATE/TIME PRESET	本機の日付と時刻を設定する。	
MENU GRADE	拡張メニューを表示させる。	[BASIC] : 基本メニューのみ表示させる。 ENHANCED : 基本メニューの下に拡張メニューを表示させる。 <sup>d)</sup>

- a) 記録されたインデックスは消去できません。  
b) NTSC/PAL の映像記録形式が一致しないと、リージョンコードが一致していても再生することができません。NTSC/PAL のどちらかに、拡張メニューの TV SYSTEM で設定します。  
c) 東南アジア地域は、NTSC/PAL が混在していますので、ご注意ください。  
d) 拡張メニューについては、次の ENHANCED MENU をご覧ください。

## ENHANCED MENU — 拡張サブメニュー

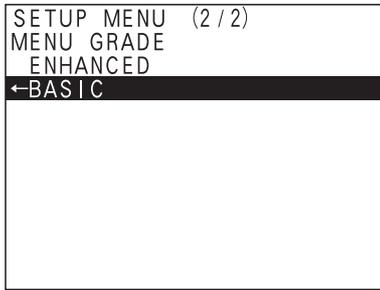
拡張サブメニューは以下の操作で開きます。

- 1 前面パネルの▲、▼ボタンを押して、SETUP MENU の MENU GRADE を白黒反転表示させる。

SETUP MENU (2/2)	
FREEZE MODE	: FRAME
DISC END	: EJECT
REGION CODE	: 2
PRE REC	: OFF
B/W MODE	: OFF
DATE/TIME PRESET	
←MENU GRADE	: BASIC →

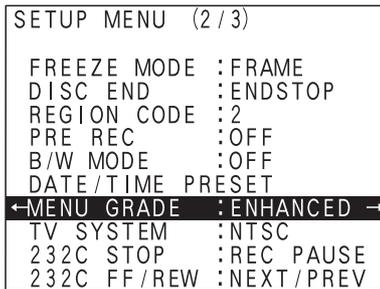
- 2 ▶ ボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



- 3 ↓ ボタンを押して、ENHANCED を白黒反転表示させ、← ボタンを押す。

基本メニューの下に、拡張メニューが表示されます。



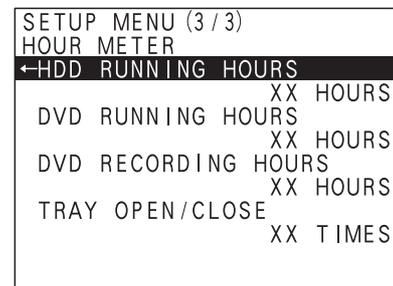
### ENHANCED MENU サブメニュー

設定項目	内容	設定
TV SYSTEM	映像記録方式、NTSC/PAL のいずれかを選択する。	[NTSC]/PAL
232C STOP <sup>a)</sup>	記録中に RS-232C から STOP コマンドを受信したときの動作を選択する。	REC PAUSE：一時停止する。 [REC STOP]：記録を停止する。
232C FF/REW <sup>a)</sup>	RS-232C から FF/REW コマンドを受信したときのサーチ動作を選択する。	NEXT/PREV：FF コマンド、PREV コマンドを受信すると、本機の ►►NEXT/DOWN ボタン、◄◄PREV/UP ボタンと同じ動作をします。 [FF/REW]：FF コマンド、PREV コマンドを受信すると、ディスクの先頭にジャンプします。

設定項目	内容	設定
RECPAUSE INDEX	■PAUSE ボタンを押して記録一時停止状態にし、再度 ■PAUSE ボタンを押して記録再開する時に、インデックスを付加するかどうかを選択する。	[ON]：インデックスを付加する。 OFF：インデックスを付加しない。 <b>ご注意</b> RECPAUSE INDEX で OFF に設定すると、SETUP MENU の PRE REC の設定 (49 ページ参照) は強制的に OFF となります。
REC COUNTER	記録中のフロントパネルディスプレイの時間表示の内容を選択する。	REMAIN：ディスクの残量を表示する。 [COUNTER]：記録経過時間を表示する。
DEVICE TYPE <sup>a)</sup>	RS-232C の device type INQ コマンドを受信した場合に、返信するセットを選択する。	[DVO]：外部装置など接続機器に新規に本機を接続する場合。 SVO9500：本機を従来のソニー製ビデオカセットレコーダー SVO-9500MD と置き換えて使用する場合。
DVD WRITEMODE	DVD への書き込み方法を選択する。	[NORMAL]：記録データを数秒単位に分割し、記録中に HDD、DVD の順に書き込んでいく。ディスクエラーが発生した場合は、エラーが発生する直前までのデータを可能な範囲で復旧します。 AFTER HDD：記録中は HDD のみに記録を行い、停止中や再生中に DVD に書き込む。ただし、記録を停止した後、ディスクは書き込みが終了するまで取り出せません。ディスクエラーが発生した場合は、HDD に記録されたタイトルから復旧できます。
HOUR METER	ハードディスク、DVD の使用の積算時間、DVD の記録の積算時間、およびトレイの開閉回数を表示。	表示のみ。 <sup>b)</sup>

a) REMOTE I/F で、RS232C または USB が選択されているとき有効になります。

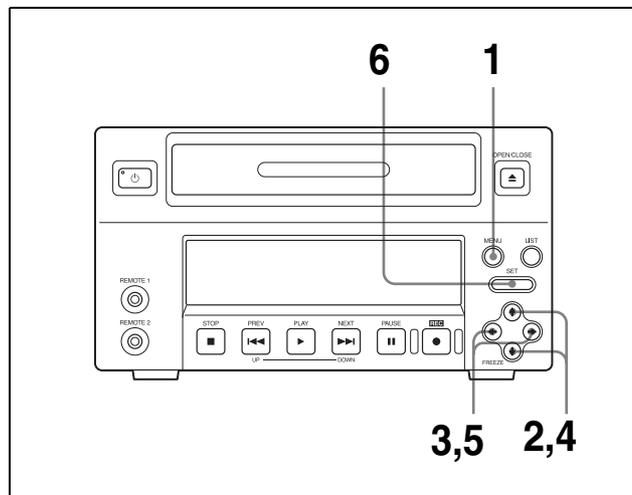
b) 下記の画面が表示されます。



# メニューの基本操作

ここでは、各画面に共通なメニューの基本操作について説明します。

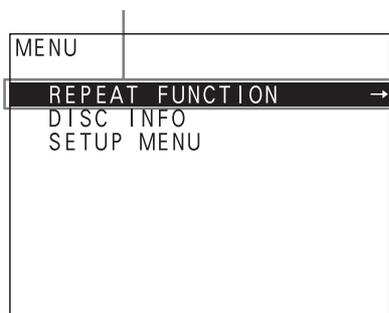
既に、本文中にメニュー操作の説明をしている個所があります。併せてご覧ください。



## 1 MENU ボタンを押す。

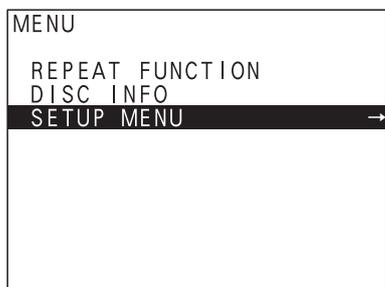
トップメニューが表示されます。

白黒反転表示されている。



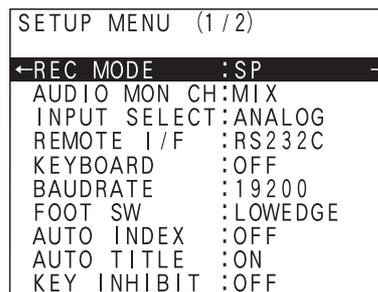
最後に選ばれていた項目が白黒反転表示されています。

## 2 ↑、↓ ボタンを押して、希望のサブメニューを白黒反転表示させる。



## 3 → ボタンを押す。

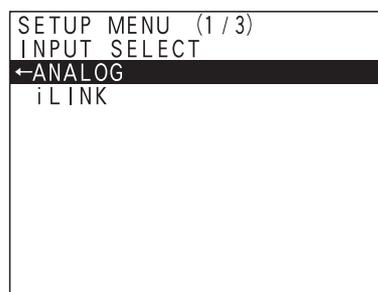
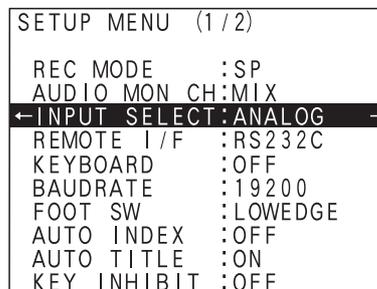
下の階層のメニュー画面が表示されます。



### さらに下の階層に移動するには

手順、2 と 3 を繰り返して、設定したい項目のある階層まで移動します。

### 例



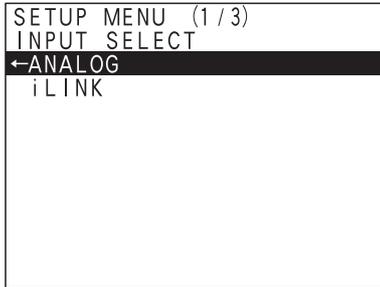
### 前の階層に戻るには

◀ ボタンを押します。押すごとに、前の階層に上っていきます。

## 4 設定したい項目のある画面を表示させたら、↑、↓ ボタンを押して、希望の設定を白黒反転表示させる。

表示させた時点で設定項目が選択されます。

例：下記の画面では、入力信号として ANALOG が選択されます。



引き続き他の項目も設定するには手順 5 に進みます。メニュー操作を確定して終了させるには手順 6 に進みます。

- 5** ←、→ ボタンを押して、希望のサブメニューに移動し、手順 4 を繰り返す。

そのサブメニューで全ての設定が終了したら、手順 6 に進みます。

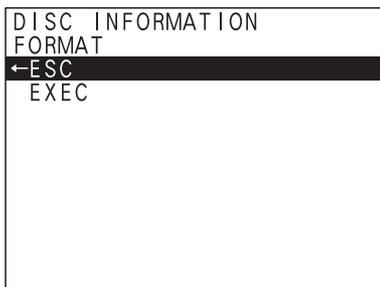
- 6** SET ボタンを押す。

以下の画面が表示され、設定の保存が始まります。



保存が完了すると、メニュー画面から抜け、通常画面に戻ります。

#### メニュー操作中に次の画面が表示された場合



#### ESC を白黒反転表示させた場合：

SET ボタンを押します。

確定をせずに、1 階層上のメニューに戻ります。

#### EXEC を白黒反転表示させた場合：

SET ボタンを押します。

「READY?」という確認画面が表示されます。

再度 SET ボタンを押します。

動作中の画面が表示され、終了するとメニュー画面から抜け、通常画面に戻ります。

#### メニュー操作をキャンセルするには

メニュー操作のどの階層においても MENU ボタンを押します。

「ABORT!」というメッセージが表示され、今までのメニュー操作はキャンセルされ、通常画面に戻ります。

## メッセージ一覧

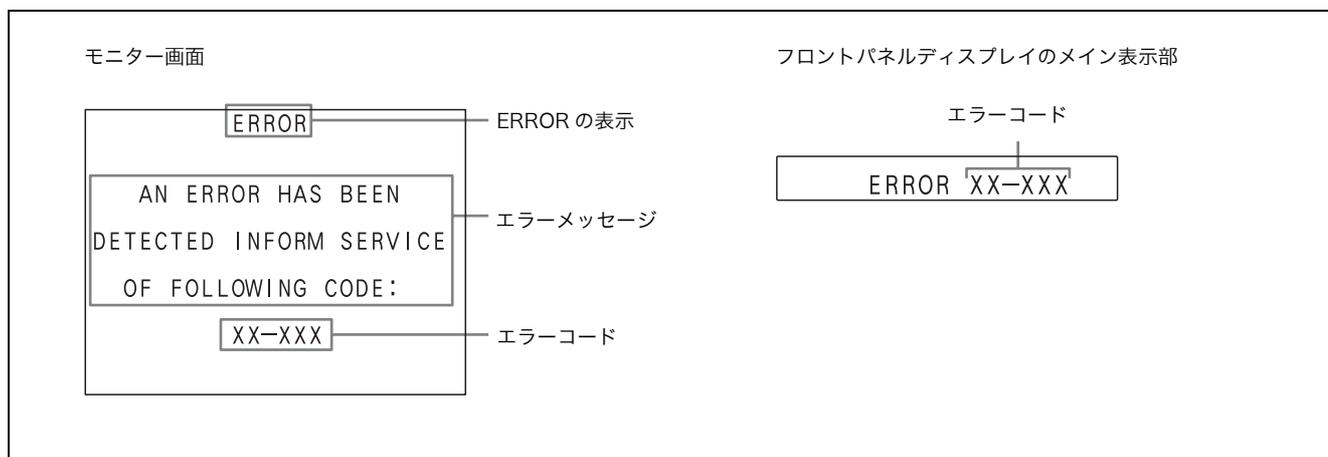
モニター画面およびフロントパネルディスプレイに表示されるメッセージには、以下の2種類があります。

- ・ エラーメッセージ
- ・ 警告メッセージ

### エラーメッセージ

本機は、内部の異常を検出する自己診断機能を備えています。異常が発見された場合は、モニター画面、およびフロントパネルディスプレイの表示部にエラーコードが表示されます。

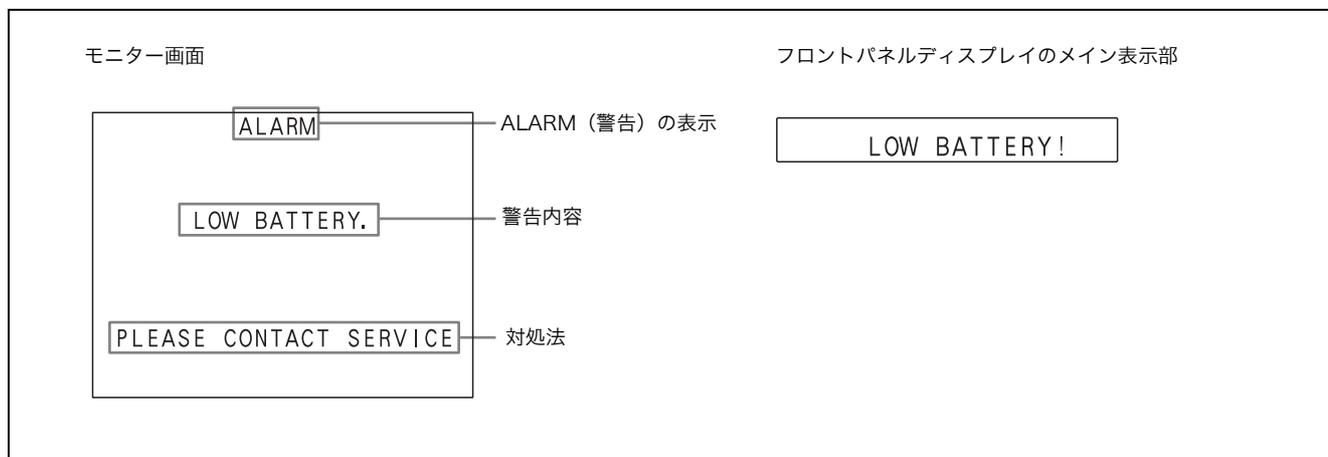
このエラーコードが表示された場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご連絡ください。



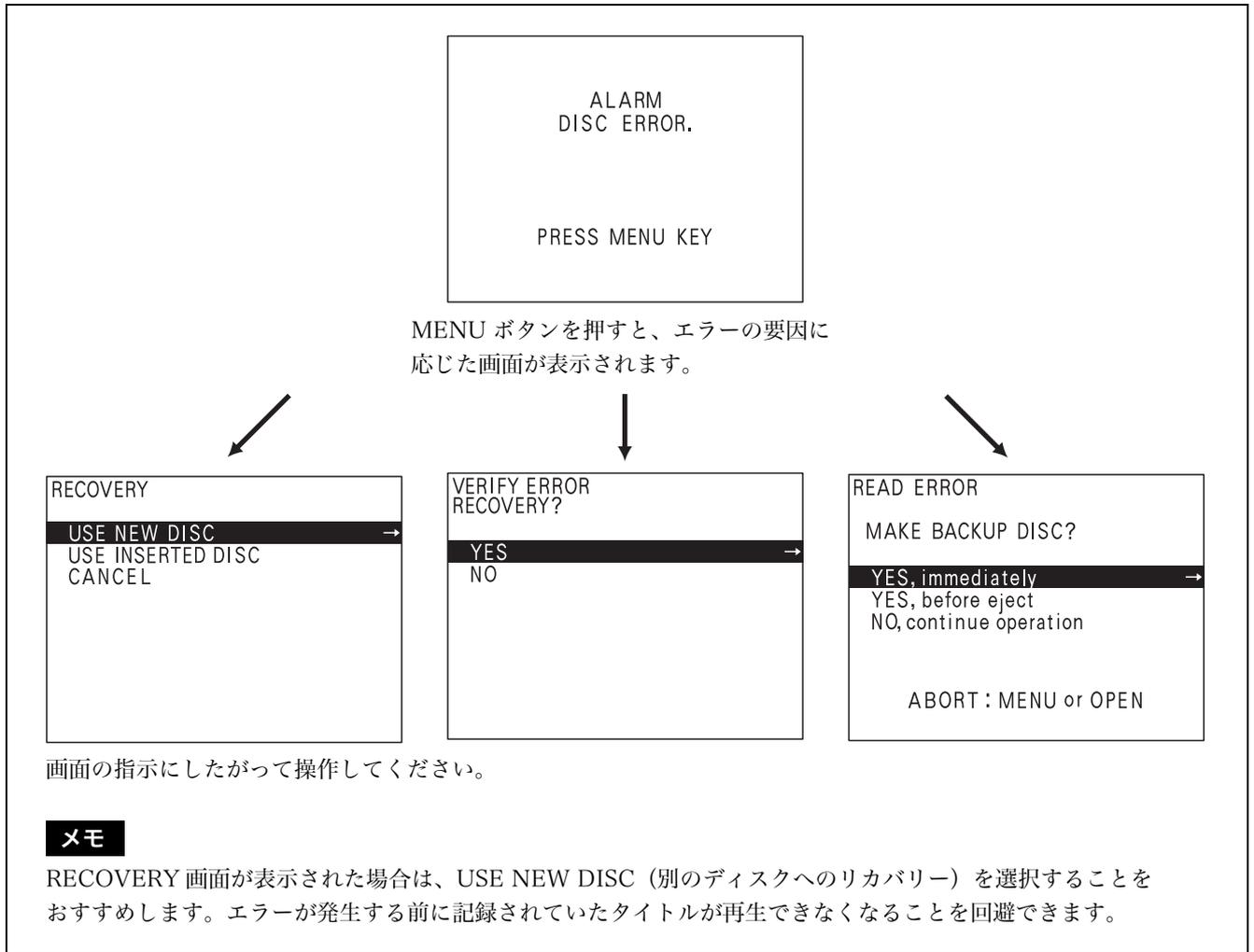
### 警告メッセージ

本機を操作中、モニター画面やフロントパネルディスプレイのメイン表示部に次のような警告メッセージが表示

されることがあります。メッセージにしたがって次に示す処置をしてください。



また、ディスクの異常を検出した場合は、次のような警告メッセージが表示されることがあります。メッセージにしたがって操作や選択を行ってください。



メッセージ		意味/対処
モニター画面	フロントパネルディスプレイ	
LOW BATTERY. PLEASE CONTACT SERVICE.	LOW BATTERY!	電源を投入時のバッテリーチェックで電池がすくなくなり、バッテリーの交換が必要です。 →任意のボタンを押して、表示を消します。バッテリー交換については、ソニーのサービスマンにお問い合わせください。
MOISTURE HAS BEEN DETECTED. KEEP THE POWER ON AND WAIT UNTIL THIS INDICATION GOES OFF.	HUMID!	結露が生じています。 →表示が消えるまでディスクを入れしないでください。
DISC FULL. CANNOT ADD NEW TITLES.	DISC FULL!	残量がないディスクを入れました。5 秒間表示後、元の状態に戻ります。
DISC FULL. USE ANOTHER DISC.		残量がないディスクに記録しようとしてしました。5 秒間表示後、元の状態に戻ります。 →記録可能なディスクと入れ換えてください。
TITLE FULL. CANNOT ADD NEW TITLES.	Title FULL!	既に 49 個のタイトルが記録されているディスクを入れました。5 秒間表示後、元の状態に戻ります。
TITLE FULL. USE ANOTHER DISC.		既に 49 個のタイトルが記録されたディスクに記録しようとしてしました。5 秒間表示後、元の状態に戻ります。 →不要なタイトルを削除するか (45 ページ参照)、記録可能なディスクと入れ換えてください。

メッセージ		意味/対処
モニター画面	フロントパネルディスプレイ	
INDEX FULL. CANNOT ADD NEW TITLES.	Index FULL!	既に 254 個のインデックスが記録されているディスクを入れました。5 秒間表示後、元の状態に戻ります。
INDEX FULL. CANNOT ADD NEW INDEXES.		既に 254 個のインデックスが記録されたディスクを再生中に、インデックスをつけようとしてしました。5 秒間表示後、元の状態に戻ります。 →不要なインデックスを削除してください (62 ページ参照)。
INDEX FULL. USE ANOTHER DISC.		記録中に、インデックスが 254 個を超えました。5 秒間表示後、元の状態に戻ります。 →記録可能なディスクと入れ換えてください。
99 INDEXES. CANNOT ADD NEW INDEXES.	99 Indexes!	既に 99 個のインデックスが記録されているタイトルを再生中に、インデックスをつけようとしてしました。5 秒間表示後、元の状態に戻ります。 →不要なインデックスを削除してください (62 ページ参照)。
99 INDEXES. MAKE A NEW TITLE.		記録中に、1 タイトルの中に 99 個以上のインデックスをつけようとしてしました。5 秒間表示後、元の状態に戻ります。 →新しいタイトルを作ってください。
NO A, B POINT. SET THE A & B POINT.	NO AB POINT!	A 点、B 点が設定されていません。 →REPEAT FUNCTION メニューの REPEAT A-B で設定されていない A 点、B 点を設定してください。(37 ページ参照)
THIS TITLE IS PROTECTED.	Protected!	保護されているタイトルを消しようとした。保護されているタイトルは消去できません。5 秒間表示後、元の状態に戻ります。
CANNOT RECORD THIS SIGNAL.	Can't REC!	記録禁止信号を記録しようとしてしました。5 秒間表示後、元の状態に戻ります。 →記録禁止信号以外の信号を入力してください。
PLAYBACK PROHIBITED BY REGION CODE.	REGION CODE!	リージョンコードの異なるディスクを再生しようとしてしました。トレイを開けると、メッセージは消えます。 →SETUP MENU の REGION CODE でディスクに合ったリージョンコードを設定してください。
KEY INHIBIT MODE IS SELECTED. SET KEY INHIBIT MODE TO OFF.	KEY INHIBIT!	本機が KEY INHIBIT (キーロック) 状態になっています。5 秒間表示後、元の状態に戻ります。 →SETUP MENU の KEY INHIBIT を OFF に設定し、キーロック機能を外してください。
ABNORMAL SETTINGS SELECTED IN SETUP MENU. SET ITEMS IN THE SETUP MENU TO THE APPROPRIATE VALUES. CONTACT SERVICE IF THIS ALARM APPEARS AGAIN AFTER ABOVE PROCEDURE.	ILL. SET UP!	SETUP MENU の設定が正しくありません。任意のボタンを押して、表示を消します。消したあと、以下の操作を行ってください。 →正しく設定します。(48、49 ページ参照) 再度設定した値が設定できない場合や、このメッセージが再度表示された場合は、ソニーのサービスマンにお問い合わせください。
NO DISC. INSERT A DISC.	NO DISC	ディスクが入っていません。 →ディスクを入れてください。
DISC CANNOT BE PLAYED BACK. USE DISC WITH NTSC RECORDING.	PAL DISC!	NTSC 仕様の本機に PAL で記録されたディスクを入れました。 →NTSC で記録されたディスクを入れてください。
DISC CANNOT BE PLAYED BACK. USE DISC WITH PAL RECORDING.	NTSC DISC!	PAL 仕様の本機に NTSC で記録されたディスクを入れました。 →PAL で記録されたディスクを入れてください。

メッセージ		意味/対処
モニター画面	フロントパネルディスプレイ	
NOT SUPPORTED DISC. USE DVD+RW DISC.	Not supported!	本機で使用できないディスクをトレイに入れました。トレイを開けると、メッセージは消えます →本機で使用できる DVD+RW ディスクを使用してください。
LOADING TIME OVER.	LOADING ERROR!	ディスクの認識ができませんでした。 →ディスクの状態を確認するか、交換してください。
DISC ERROR.	DISC ERROR!	ディスクのアクセスに失敗しました。 →ディスクの状態を確認するか、交換してください。
RECOVERING THE DISC. PLEASE WAIT.	Recovery...	ディスクの復旧中です。 →メッセージが消えるまでお待ちください。
CANNOT RECOVER. CHANGE THE DISC.	Can't Recover!	ディスクの復旧に失敗しました。 →ディスクを交換してください。
FINALIZING THE DISC. PLEASE WAIT.	Finalizing...	ディスクのファイナライズ中です。 →メッセージが消えるまでお待ちください。
CANNOT FINALIZE THIS DISC. CHECK THE DISC.	Fin. Failed!	ディスクのファイナライズに失敗しました。 →ディスクを交換してください。
FORMATTING THE DISC. PLEASE WAIT.	Formatting...	ディスクのフォーマット中です。 →メッセージが消えるまでお待ちください。
CANNOT FORMAT THIS DISC.	Init. Failed!	ディスクのフォーマットに失敗しました。 →ディスクを交換してください。

# 故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前にもう一度点検してください。それでも正常に動作しないときは、ソニーのサービス担当者、営業担当者にお問い合わせください。

症状	原因・処置
電源スイッチを押しても、電源が入らない。(スタンバイランプが点灯していない。)	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機後面の MAIN POWER スイッチがオフになっています。 →MAIN POWER スイッチを <b>I</b> (オン) の位置にします。(17 ページ参照)</li> <li>電源コードが外れています。 →電源コンセントから抜けていないか、正しく接続されているか確認します。(15 ページ参照)</li> </ul>
本機の操作ボタンが働かない、記録、再生ができないなど、正常に動作しない。	<p>静電気などの影響で正常に動作しなくなる場合があります。</p> <p>→前面パネルの電源スイッチを切つてから、後面の MAIN POWER スイッチを <b>O</b> (オフ) の位置にします。(17 ページ参照) 次に電源コードを抜きます。しばらく置いてから、再び、電源コードを接続し、電源を入れます。</p>
OPEN/CLOSE ボタンを押してもディスクトレイが開かない。	<p>記録や編集をしたとき、ディスクトレイが開くのに数秒かかることがあります。これは、本機がディスク情報を追加しているためで故障ではありません。</p>
電源は入るが、画像が出ない。乱れる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機後面の入出力コネクタの接続が抜けています。 →正しく接続します。(15 ページ参照)</li> <li>本機後面の入出力コネクタの接続が間違っています。 →正しく接続します。(15 ページ参照)</li> <li>使用しているケーブルが断線しています。 →ケーブルを確認します。</li> <li>メニューで選択されている入力信号と異なるコネクタから信号が入力されています。 →SETUP MENU の INPUT SELECT で正しい入力信号を設定します。(25 ページ参照)</li> <li>ディスクに傷や汚れがあります。 →傷や汚れのないディスクを使用してください。(23 ページ参照)</li> </ul>
メニューで「ANALOG」を選んでいても、VIDEO IN 端子からの入力信号の映像が出ない。	<p>S-VIDEO 端子に S 映像ケーブルが接続されています。</p> <p>→S-VIDEO 端子から S 映像ケーブルを外します。(25 ページ参照)</p>

症状	原因・処置
音が出ない。雑音が入る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機後面の入出力コネクタの接続が抜けています。 →正しく接続します。(15 ページ参照)</li> <li>本機後面の入出力コネクタの接続が間違っています。 →正しく接続します。(15 ページ参照)</li> <li>使用しているケーブルが断線しています。 →ケーブルを確認します。</li> <li>順方向・逆方向の早送り再生中です。 →▶PLAY ボタンを押します。(35 ページ参照)</li> <li>ディスクに傷や汚れがあります。 →傷や汚れのないディスクを使用してください。(23 ページ参照)</li> </ul>
記録できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>書き込み禁止になっているディスクを使用しています。 →記録してよいディスクに交換します。</li> <li>ディスクの空き容量がなくなりました。 →ディスクを交換します。</li> <li>既に 49 個のタイトルが記録されています。この場合は、容量があっても記録できません。 →不要なタイトルを削除するか、ディスクを入れ換えます。(45 ページ参照)</li> <li>本機で使用できないディスクを入れています。 →DVD+RW ディスクを使用してください。(23 ページ参照)</li> </ul>

症状	原因・処置
再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスクが入っていません。 →ディスクを入れます。</li> <li>記録されていないディスクが入っています。 →記録済みのディスクを入れます。</li> <li>ディスクが斜めにずれて入っています。 →正しく入れ直します。(24 ページ参照)</li> <li>本機で使用できないディスクを入れています。 →DVD+RW フォーマットで記録されたもの以外、再生できません。</li> <li>本機で再生できないリージョンコードのディスクを入れています。 →リージョンコード2のディスクを再生します。(49 ページ参照)</li> <li>他機で記録したディスクを本機で再生する場合、ファイナライズされていないディスクを再生することはできません。 →ファイナライズします。(33 ページ参照)</li> </ul>
再生中一瞬(約1秒間)静止画になり、音声が途切れる。	本機は、タイトルとタイトルの間で再生が止まり、約1秒後に再生が開始されます。故障では、ありません。
ディスク内のデータが破損した。	ソニーのサービス担当者、営業担当者にお問い合わせください。

# 仕様

## 一般

### 記録/再生フォーマット

DVD+VR フォーマット

ビデオ：MPEG-2@ML (CBR、VBR)

オーディオ：ドルビーデジタル 2CH

### 信号方式

NTSC/PAL カラー方式 (メニューでどちらかを選択)

### 電源

AC100V、50/60Hz

### 入力電流

0.56A

### 動作環境

温度：5℃～40℃

湿度：20%～80% (ただし結露がないこと)

動作保証気圧：700 hPa～1,040 hPa

### 保存環境

温度：-20℃～+60℃

湿度：20%～90% (ただし結露がないこと)

保存・輸送の気圧コンディション：

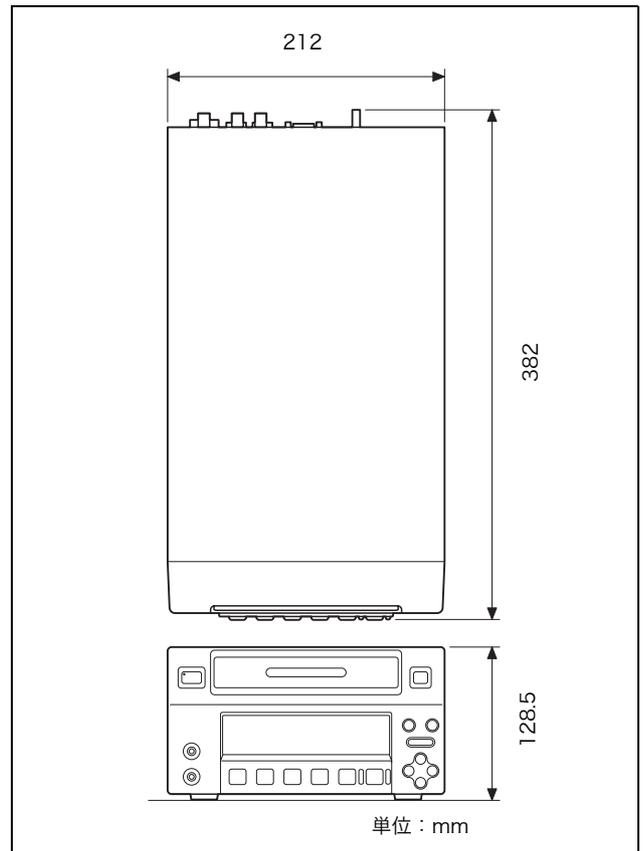
700 hPa～1,040 hPa

### 質量

約6kg

### 寸法

212 (横) × 128.5 (高さ) × 382 (奥行き) mm (最大突起部を含む)



## 入出力

### アナログ映像入力

VIDEO IN (BNC 型×2、ループスルー、自動 75 Ω 終端) コンポジット、1.0 Vp-p、75 Ω、同期負  
S-VIDEO IN (4 ピンミニ DIN 端子×2、ループスルー、自動 75 Ω 終端)  
Y : 1.0 Vp-p  
C : 0.286 Vp-p (NTSC)、0.3 Vp-p (PAL)、カラーバースト、75 Ω、同期負

### アナログ映像出力

VIDEO OUT (BNC 型×1) コンポジット  
1.0 Vp-p、75 Ω、同期負  
S-VIDEO OUT (4 ピンミニ DIN 端子×1)  
Y : 1.0 Vp-p  
C : 0.286 Vp-p (NTSC)、0.3 Vp-p (PAL)、カラーバースト、75 Ω、同期負

### アナログ音声入力

AUDIO IN L/R (ピンジャック) 各 1  
2 Vrms (Full bit)、入力インピーダンス 47 kΩ 以上、不平衡

### アナログ音声出力

AUDIO OUT L/R (ピンジャック) 各 1  
2 Vrms (Full bit)、負荷インピーダンス 47 kΩ、不平衡  
MONITOR AUDIO (ピンジャック)  
2 Vrms (Full bit)、負荷インピーダンス 47 kΩ、不平衡

デジタル信号  DV IN (i.LINK) (6 ピン)

## 制御

REMOTE 1 (ステレオミニジャック)  
別売りリモートコントロールユニット SVRM-100A 用端子  
REMOTE 2 (ミニジャック)  
別売りフットスイッチ用端子  
REMOTE IN RS-232C (D-SUB 9 ピン)  
非同期シリアル  
 USB (Universal Serial Bus)  
Specification Revision 2.0 (Full Speed まで)

## その他

付属品            ご使用になる前に (1)  
                    CD-ROM (1 枚)  
                    保証冊子 (1)  
別売り品        AC 電源コード  
                    部品番号 1-846-283-11  
                    3 極 → 2 極変換プラグ  
                    部品番号 1-793-461-12  
                    リモートコントロールユニット SVRM-100A

### 安全に関する仕様

電撃に対する保護の形式:

クラス I

水の浸入に対する保護等級:

0 級 (特に保護がされていない)

可燃性麻酔剤の点火の危険に対する保護:

空気か酸素か亜酸化窒素を含む可燃性麻酔薬混合物があるときは使用に適していません。

作動モード: 連続

### 推奨メディアについて

ソニー製 DVD+RW ディスクのご使用をおすすめします。

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

- 必ず事前に記録テストを行い、正常に記録されていることを確認してください。本機や記録メディア、外部ストレージなどを使用中、万一これらの不具合により記録されなかった場合の記録内容の補償については、ご容赦ください。
- お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。

# MPEG-2 Video Patent Portfolio License について

個人的使用以外の目的で、MPEG-2 規格に合致した本製品をパッケージメディア向けビデオ情報をエンコードするために使用する場合、MPEG-2 PATENT PORTFOLIO の特許に関するライセンスを取得する必要があります。尚、当該ライセンスは、MPEG LA, L.L.C., (住所：250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206) より取得可能です。

PACKAGED MEDIA とは、一般消費者向けに販売・頒布される MPEG-2 コンテンツの入ったメディア (映画 DVD など) を指します。PACKAGED MEDIA を製造・販売・頒布する業者は、MPEG LA からライセンス取得する必要があります。詳しくは、MPEG LA にお問い合わせください。MPEG LA, L.L.C., 250 STEELE STREET, SUITE 300, DENVER, COLORADO 80206  
ホームページ：http://www.mpegla.com

# 保証書とアフターサービス

## 保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

## アフターサービス

### 調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

### それでも調子の悪いときはサービスへ

お買い上げ店ご相談窓口にご連絡ください。

### 保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

お買い上げ店にご相談なさるときは、次のことをお知らせください。

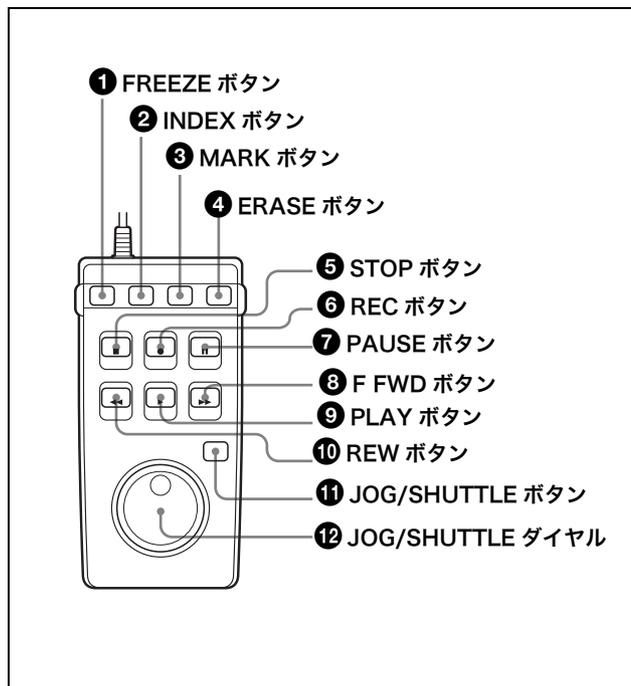
- ・ 型名：DVO-1000MD
- ・ 購入年月日

# 別売りのリモートコントロールユニット SVRM-100A について

本機前面の REMOTE 1 端子に別売りのリモートコントロールユニット SVRM-100A を接続すると、本機をリモートコントロールできます。SVRM-100A を使うと、インデックス操作、およびサーチダイヤルを使ったジョグ/シャトルのサーチができます。ここでは、各部の名称と働きと SVRM-100A を使ってできるサーチ操作について説明します。

## 各部の名称と働き

ここでは、本機をリモートコントロールするときに行える機能について説明します。リモートコントロールのボタンのうち、対応するボタンが本機にあるものは、同じ機能を持っています。



- ① **FREEZE ボタン**  
FREEZE コマンドを出力します。
- ② **INDEX ボタン**  
INDEX コマンドを出力します。  
1 回押すとインデックススキャンモード、2 回押すとインデックスサーチモードになります。
- ③ **MARK ボタン**  
MARK コマンドを出力します。

- ④ **ERASE ボタン**  
ERASE コマンドを出力します。
- ⑤ **STOP ボタン**  
STOP コマンドを出力します。
- ⑥ **REC ボタン**  
REC コマンドを出力します。
- ⑦ **PAUSE ボタン**  
PAUSE コマンドを出力します。  
再生中に本ボタンを押すと、再生一時停止になります。  
記録中に本ボタンを押すと、記録一時停止になります。
- ⑧ **F FWD ボタン**  
本機 ►►INEXT/DOWN ボタンと同様の操作ができます。
- ⑨ **PLAY ボタン**  
PLAY コマンドを出力します。
- ⑩ **REW ボタン**  
本機 ◀◀PREV/UP ボタンと同様の操作ができます。
- ⑪ **JOG/SHUTTLE ボタン**  
本ボタンを押すと、ランプが点灯し、ジョグ/シャトルモードになります。
- ⑫ **JOG/SHUTTLE ダイアル**  
シャトルダイヤルの位置により、方向とスピードを決定し、サーチコマンドを出力する。  
ジョグダイヤルは、シャトルダイヤルが STILL の位置にあるときに有効となります。ジョグダイヤルの回転方向と回転スピードにより決定し、サーチコマンドを出力します。

## インデックスをつける

記録中、または再生中にポイントとなる個所にインデックスをつけることができます。

- 1 記録、または再生モードにする。
- 2 インデックスをつけたい個所が表示されたら、MARK ボタンを押す。

インデックスは、1 タイトル内で最大 99 個、1 デイスク内で最大 254 個つけることができます。

---

## 見たい画面を探す – インデックススキャン

- 1 インデックス信号を打ち込んだディスクを入れる。
- 2 本機を停止または再生モードにする。
- 3 リモートコントロールユニットのINDEX ボタンを押す。

インデックススキャンモードになります。

- 4 現在位置より前の映像を探すには、REW ボタンを押す。

現在位置より後ろの映像を探すには、F FWD ボタンを押します。

インデックス信号を検出すると、そこから約 10 秒間再生し、次のインデックス信号を探します。  
ディスクの先頭、または終わりまで繰り返します。

### インデックススキャンモードを解除するには

本機、および SVRM-100A の STOP ボタン、PLAY ボタン、◀ ボタン、▶ ボタンのいずれかを押します。または、ディスクの先頭、または終わりまでスキャンすると、自動的にインデックススキャンモードは、解除されます。

---

## 見たい画面をインデックス番号で指定して頭出しをする – インデックスサーチ

- 1 インデックス信号を打ち込んだディスクを入れる。
- 2 本機を停止または再生モードにする。
- 3 リモートコントロールユニットのINDEX ボタンを 2 回押す。  
インデックスサーチモードになります。
- 4 リモートコントロールユニットのINDEX ボタンを希望の回数押して、何番目かのインデックスを指定する。
- 5 現在位置より前の映像を探すには、REW ボタンを押す。  
現在位置より後ろの映像を探すには、F FWD ボタンを押します。

---

## インデックスを消去する

記録、または再生中に MARK ボタンを使ってつけたインデックスを消去することができます。

### ご注意

記録開始点、記録中に本機の ■ ボタンを押してつけたインデックス、および SETUP MENU の AUTO INDEX (48 ページ参照) 機能を使ってつけたインデックスは消去できません。

- 1 インデックススキャンモードにする。
- 2 消去したいインデックスを表示させる。
- 3 ERASE ボタンを押す。

手順 2 で表示されたインデックスは消去されます。  
この場合、前のチャプターと一緒に、1 つのチャプターとなります。

# 用語解説

## 五十音順

### インデックス

記録中、再生中に目印となる個所に付けるマーク。本機では、1 タイトルで最大 99 個、1 ディスク内で最大 254 個つけることができる。

### オリジナルタイトル

DVD+RW (VR モード) ディスクに実際に記録したタイトル。一度編集を行うと元に戻せない。

### タイトル

DVD ディスクに記録されている映像や曲の一番大きな単位。通常は、映像ソフトでは、映画 1 作品、音楽ソフトでは、アルバム 1 枚 (または 1 曲) にあたる。本機では記録開始から記録停止までを 1 タイトルとする。

### チャプター

DVD ディスクに記録されている映像の区切りで、インデックスで区切られた区間をいう。

### ドルビーデジタル方式

ドルビーデジタル方式は、アメリカのドルビーラボラトリーズによって開発されたデジタル圧縮技術です。ドルビーデジタル方式でエンコードされた録音は、優れた音質のオーディオ 1ch ~ 5.1ch の個別チャンネルで再生することができます。(本機では、2ch の再生)

### ビットレート

DVD ディスクに圧縮して記録されている画像と音声の、1 秒あたりの情報量を示す値。単位は、画像の場合 Mbps (Mega bit per second) で、1Mbps は 1 秒あたりの情報量が 1,000,000 ビットであることを示す。音声の場合は kbps (kilo bit per second)。この値が大きいくほど

情報量は多くなるが、必ずしも画質や音質とは直接関係しない。

### ファイナライズ

記録した DVD ディスクを他の DVD 機器で再生可能なデータ配列にすること。DVD+RW ディスクは、記録したあと取り出す際にファイナライズされる。しかし、DVD+RW フォーマット対応機器でも、ファイナライズが必要な場合もある。ファイナライズしても、記録や編集は可能。

### リージョンコード

DVD ディスクの再生可能地域を限定するコード。ディスクとプレーヤーの両方がそれぞれのコードを持つ。両方のコードが一致しないと再生できない。

## アルファベット順

### Mbps

Mbps とは Mega bit per second (メガビットパーセコンド) の略。Mbps は、通信中のデータの転送速度を表す場合などに使われる。ビットとはコンピューターで扱うデータの大きさを表す単位。1 Mbps は 1 秒間に 100 万のデジタル信号が扱えることを表している。

# 索引

## あ

安全のために ..... 2

## い

インデックス

記録中につける ..... 28

再生中に追加する ..... 35

## か

各部の名称と働き

後面 ..... 13

前面 ..... 10

## き

記録

記録モード ..... 26

準備 ..... 25

使用可能なディスク ..... 23

タイトル ..... 27

## く

繰り返し再生

タイトル ..... 39

チャプター ..... 39

A-B 点リピート ..... 37

## こ

故障かなと思ったら ..... 57

## さ

再生

繰り返し再生 ..... 37

使用可能なディスク ..... 35

静止画像 ..... 42

タイトルリストから選ぶ ..... 40

早送り再生 ..... 35

## し

仕様 ..... 58

使用上のご注意

取り扱い・保管 ..... 7

## せ

接続 ..... 15

設定

記録モード ..... 26

ディスクエンド ..... 31

入力信号 ..... 25

日付・時刻 ..... 20

フットスイッチ ..... 29

プリレック機能 ..... 30

リモートインターフェース ..... 21

NTSC/PAL の選択 ..... 18

## た

タイトル

記録 ..... 27

繰り返し再生 ..... 39

消去 ..... 45

情報 ..... 30, 43

情報の編集 ..... 30, 44

名前 ..... 43

保護 ..... 44

## ち

チャプター

頭出し ..... 36

繰り返し再生 ..... 39

著作権について ..... 4

## て

ディスク

ご注意 ..... 7

再生 ..... 35

情報 ..... 41

初期化 ..... 34

出し入れ ..... 24

注意 ..... 23

ファイナライズ ..... 33

電源の入り/切り ..... 17

## と

特長 ..... 9

## ふ

ファイナライズ ..... 33

プリレック機能 ..... 30

## ほ

保証書とアフターサービス ..... 60

## め

メッセージ

エラーメッセージ ..... 53

警告メッセージ ..... 53

メニュー

一覧 ..... 47

拡張メニュー ..... 49

基本操作 ..... 51

構成 ..... 47

## り

リモートコントロールユニット

SVRM-100A

インデックスサーチ ..... 62

インデックススキャン ..... 62

インデックスの消去 ..... 62

各部の名称と働き ..... 61

お問い合わせは

「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

<http://www.sony.co.jp/>